

令和7年度

事業報告書



社会福祉法人土佐厚生会

# — 目 次 —

土佐厚生会.....	2
障害者支援施設こくふ.....	10
相談支援センターアルペジオ.....	13
就労継続支援B型事業所ウィール社.....	14
就労継続支援B型ワークセンターファースト.....	20
障害者福祉ホームコーポラスこくふ.....	24
障害者支援施設ステージ桜が丘.....	27
特別養護老人ホーム八流荘.....	32
小規模多機能型居宅介護事業所南風.....	38
障害者支援施設とさ.....	41
就労継続支援B型事業所カトレア.....	46

# 社会福祉法人土佐厚生会

## 1 法人をめぐる社会環境

2026年4月28日、日銀の植田和男総裁は金融政策決定会合において、利上げに対する緊急度はないとの判断から、政策金利の据え置きを決定した。物価の上振れと景気の下振れのリスクに対する見極めが必要との意向が示され、Behind the curve（中央銀行、金融機関が経済状況への対処が遅れた状態）に陥ることのないよう、様々なデータや情報の点検を進めながら次回以降の金融政策決定会合において政策判断されることとなった。

さて、本会が昭和56年4月から安芸市赤野甲にて設置経営をしている特別養護老人ホーム八流荘は、高齢者の安全・安心・安楽と、地域住民の避難施設としての役割を適切に果たすべく、名称も新たに「アニマート・やながれ」(Animato とは、元気に・生き活きと)として、改築整備事業を進めてきた。工事用運行路造成工事に始まり、内装・建物解体工事、新設設備基礎躯体工事、新設配管配線の切替を終え、無事整地工事が完了した。

しかしながら、昨年6月に特別養護老人ホームの4人部屋に関する高知県条例の一部改正が行われ、高知県長寿社会課との「多床室(4人部屋)整備の必要性」について協議を重ねてきたが、未だに承認されていない。本会としても、今後県内人口が縮小していく中で、4人部屋のあり方は重要な論点の一つとして考えており、やながれ福祉施設センター改築事業計画の策定から既に5年が経過していることから、改築計画の大幅な見直しを余儀なくされている。加えて、現在の経済情勢は極めて不安定であり、地政学的には、イラン情勢やホルムズ海峡の問題、米国とイランの緊張が解けずホルムズ海峡の封鎖が続くような環境でも、場合によっては利上げもあり得るとした植田総裁の発言は、為替や金利など国内市場において敏感に反応する。本会の財務状況においては再度の精査が必要であり、改築事業の資金確保及び返済計画等の慎重な見直しをはかるべく、アクションプラン2030をふまえた協議を現在進めている。

### 全国社会福祉法人 経営者協議会 社会福祉法人アクションプラン2030 (2026年度～2030年度中期行動計画)より抜粋

#### 経営に対する基本姿勢「行動指針 ③」健全で安定的な財務基盤の確立

#### 長期目標の考え方

社会福祉法人は地域のセーフネットであり、健全な財務基盤を確立することが社会から強く求められています。そのため、短期的な視点だけではなく、長期的な視点で財務状況の健全性を確保しなければなりません。今後、人口構造の変化から、福祉領域の人材不足のさらなる深刻化に加え、都市部でも利用者の減少が見込まれ、その健全性を確保することはより難しくなることも想定されます。そのため、各法人においては業務の効率化がさらに求められるとともに、さまざまなステークホルダーからの寄付を集めるための仕掛けづくりや収益事業の検討も必要です。

#### 長期目標

- ① 中長期的な経営の視点も重視し、事業計画と財務計画を随時見直せる体制を構築します。
- ② 単年度の財務実績のみを注視するのではなく、貸借対照表といった累積の財務状況の把握にも努めます。
- ③ 事業廃止の際に生じる国庫補助金等の返還額やかかる費用について把握し、その資金を必要に応じて確保します。
- ④ 物価上昇局面での資産価値の維持の観点から、安全かつ換金性の高い資産運用を検討します。

## 地域や社会に対する基本姿勢「行動指針 ⑩」地域の人口動態に対する適応

### 長期目標の考え方

2040年に向けて、85歳以上の医療・介護の複合ニーズ層や認知症・独居高齢者の増加、生産年齢人口の減少、地域ごとに異なる高齢化・人口減少の進行を踏まえ、将来推計人口やサービス需要を的確に把握します。そのうえで、単一サービスの維持にとらわれず、事業所の多機能化や法人間連携を進め、地域の実情に応じた柔軟で持続可能なサービス提供体制を構築し、限られた人材・資源を最大限に活かしながら地域住民の暮らしを総合的に支えます。

あわせて、各法人が根ざす地域において、人々が支え合いながら暮らしてきた関係性やつながり(人々の暮らしの連帯)に注目し、福祉分野の枠を越えて地域の多様な主体とともに新たな支え合いを育み、その連帯が将来にわたり持続するよう支援します。

### 長期目標

- ① 地域別の将来推計人口を把握して、サービスの需要の変化に応じたサービスを提供します。
- ② 地域社会の持続可能性や利用者保護の観点から、法人間連携や協働化等を通じて、それぞれの法人の強みを活かし、地域の課題に連携して対応します。
- ③ 地域において、住民が適切に福祉サービスを受けながら安心して日常生活を営めるよう、地域の実情に応じて効果的・効率的なサービスを提供します。
- ④ 福祉分野を越えて、地域の関係者と協働・連携して地域づくりやまちづくりを進めていくことで、地域の基盤の構築や住民参画を促します。

## 2 法人本部事業の総括

本会の活動理念である「愛情」「奉仕」「連帯」を旨とし、人口縮小社会を見据えた、制度では対応できない地域の様々な生活課題、福祉需要に先駆的に取り組んだ。

社会のセーフティネットの役割を果たすべく、各地域への社会貢献とスタッフの人材育成、労働環境の改善に向けて積極的に取り組んだ。

## 3 事業報告

### (1) 役員、評議員等の活動

ア 役員等の活動は以下のとおり。

活動名	開催日・場所	主たる審議内容
理事会	令和7年6月5日 (土佐厚生会藤の間)	令和6年度事業報告・決算、利用定員の変更、諸規程の変更、評議員選任・解任員の選任、理事・監事候補者、評議員会開催
	令和7年6月21日 (土佐厚生会藤の間)	理事長及び業務執行理事の選任
	令和7年9月20日 (藤の間・オンライン併用)	事業進捗状況、工事の実施、諸規程の変更
	令和7年12月6日 (土佐厚生会藤の間)	事業進捗状況、補正予算、事業の廃止、定款の変更、諸規程の変更、評議員会開催
	令和8年3月14日 (土佐厚生会藤の間)	令和8年度事業計画・予算、令和7年度補正予算、工事の実施、理事候補者、評議員会開催

評 議 員 会	令和7年6月21日 (土佐厚生会藤の間)	令和6年度事業報告・決算、利用定員の変更、理事・監事の選任
	令和7年12月20日 (土佐厚生会藤の間)	事業進捗状況、補正予算、事業の廃止、定款の変更
	令和8年3月28日 (藤の間・オンライン併用)	令和8年度事業計画・予算、令和7年度補正予算、工事の実施、理事の選任
監 事	令和7年5月20日 ～5月22日	法人事業、会計経理事前監査
	令和7年5月23日 (法人本部)	法人事業、会計経理について本監査

イ 各種会の活動は以下のとおり

名称	開催日・場所	主たる審議内容
褒章・懲戒委員会	令和8年3月14日 (土佐厚生会藤の間)	各種団体への令和8年度表彰者の推薦選考、本会永年勤続表彰者の選考
経営会議	5月・9月 11月・2月 (法人本部)	事業の進捗状況を3ヶ月に1回理事会で報告するに当たり、施設長、管理者等が会し、事業の進捗と問題、課題と対策について審議
常任理事会 (業務執行理事会)	毎月1回 (法人本部)	法人内連絡調整、重要案件の調査・審議

(2) 組織機能の強化への取り組み

ア 指導監督の推進

(ア) 会是に沿った支援ができるよう経営理念の徹底

現行のマニュアルに沿った支援を実践したが、経営理念の徹底には至っていない。次年度は、現行のマニュアルが経営理念に沿っているか、現在の接遇に適しているかAIを有効利用しながら整備する。

(イ) 法人の中期計画書及び短期計画書の精査

中期事業計画書及び短期計画書の策定は計画に沿って進め、10月の常任理事会において書式、提出期限及びヒヤリング方法を検討した。1月26日までに各施設・事業所から計画案が提出され、内容確認等の結果ヒヤリングを必要とする項目もなく、2月9日法人本部に提出された。

(ウ) 各施設の事業の進捗状況等の報告を受け、その状況を把握し指導・監督

事業の進捗状況については、必要に応じて毎月開催される常任理事会又は3ヶ月ごとに開催される経営会議において、施設長及び管理者からそれぞれ報告された。その内容については短期計画書に整理され、その後開催される理事会、評議員会で報告をした。また、虐待や身体拘束の事例は発生しなかったが、事故事例についてはその都度報告があり、常任理事会で聞き取りと再発防止に向けて協議をし、スタッフに周知した。スタッフの超過勤務、有給取得状況については、法人本部で毎月集計し施設長及び管理者に通知をし、年間の状況は6月の令和7年度事業報告短期計画書に掲載した。

イ 非常時の事業継続対策強化

(ア) 事業継続計画を周知し、災害や感染症発生時においても利用者様に継続的にサービ

スを実施できる体制の確立

法人統一フォームのBCPを作成するため、他法人のBCP資料やファーストで実施された県の指導項目を参考に、9月30日開催の防災会議で記載内容等を説明した。その後各施設、事業所に雛形を配布、作成を指示した。作成したBCPについては令和8年度防災会議において確認、修正点の検討をしていく予定。また、規定の差し替えは、次回の規程関係の差し替えに併せて実施する。感染症対策指針については、各施設、事業所に配布をし、統一した感染症BCPフォーマットについては準備をしている。

### (3) 利用者サービスの向上に取り組む

#### ア スタッフの育成の強化

##### (ア) 研修受講者の気づきや知識を部署内で共有し、実践できるシステム作り

理想的な研修受講プロセス構築のため、外部有識者にアドバイスをいただき研修フォロー制度の素案を作成した。さらにその制度を導入するため、研修前後に提出する報告書等を整理した「研修受講後フォロー制度」の素案を作成、1月常任理事会に提案した。そこで、記載内容などを協議し修正箇所の提案を受け、3月常任理事会で次年度はまず「研修フォローステップ1」に取り組むことに決定した。

##### (イ) 部署長としての役割理解とリーダー育成の強化

キャリアパス表を用いて各施設長から主任の役割等を説明しているが、なかなか定着しないため、本年度は外部講師による研修会の開催を計画した。1月に「現場を回す人から組織を育てる人へ」と銘打ち、特定社会保険労務士の藤野知良氏を招聘、対象者は4等級、5等級のスタッフを中心に6等級、7等級の施設長、管理者も参加の研修会を開催した。研修内容について、参加スタッフから「改めて役割を認識した」、「キャリアパスについて理解できた」、などの意見があり好評であった。

#### a 階層別研修

##### (a) 新規採用職員研修

研修名	受講者・研修内容
法人基礎研修	受講者:令和7年4月1日採用スタッフ2名及び中途採用スタッフ1名 本会の経営理念、歴史、各施設・事業所の概要と福祉制度及び職員としての心得について学んだ。また、就業規則、等級制度及び人事考課について説明を受けた。
新入社員 合同研修会	受講者:令和7年4月1日採用スタッフ2名 新社会人としての心構え、就業意識、ビジネスマナー、知っておくべき法律および社会保険の基礎知識などを学んだ。

##### b 組織性 [主催：高知県福祉人材センター・介護労働安定センター]

研修名	受講者・研修内容
初任者研修	受講者:福祉職場経験年数が1年未満のスタッフ2名 福祉サービスの基本理念、倫理の基礎を理解し、チームケアの一員としてのフォローアップや対人マナーと言葉遣いなどを学んだ。また初任者として、業務の振り返り、問題解決の必要性、組織の中での他職種との連携と協働について学んだ。

新任職員 ステップアップ研修	<p>受講者:経験年数がおおむね1年未満のスタッフ2名</p> <p>福祉職場の先輩職員の入職からこれまでのこと、後輩職員とのかかわりを大事にしていることなど、経験を基にした話を聞いた。また、各自のこれまでの実践や取り組みを振り返るとともに、それをグループで共有し次年度以降後輩職員を迎えるにあたり、自身が取り組みたいことなどについて、一緒に考え目標とした。</p>
先輩職員研修	<p>受講者:福祉職場経験が概ね2年～3年のスタッフ1名</p> <p>先輩としての働き方、後輩への関わり方の基本姿勢について学んだ。受講者は、熟練ワーカーと未熟練ワーカーに求められていることを理解し、後輩の能力を引き出せる、伸ばすことができる職員になることを目標とした。</p>
中堅職員研修	<p>受講者:2等級～3等級のスタッフ6名</p> <p>中堅職員としてのキャリアデザイン、キャリアアップ、役割と行動について学んだ。チームケアと問題解決、他職種と連携することの大切さを学んだ。中堅職員としての能力開発、後輩職員の指導や現在起きている問題の解決をし、後輩職員をリードするなど自己啓発についても学んだ。</p>
中堅職員 ステップアップ研修	<p>受講者:勤続5年以上のスタッフ7名</p> <p>チームの中核的存在を自覚し働きやすい職場作りなど、中堅職員に求められる役割や後輩指導と育成における、課題と自己分析をすることにより自身のくせを知る。また、後輩の指導、育成を振り返り、やる気を引き出す方法、ティーチングとコーチングの使い分け等を学んだ。</p>
チームリーダー研修	<p>受講者:リーダー層等のスタッフ5名</p> <p>リーダー層の役割と自らのキャリアの方向性について学んだ。グループワークが中心の研修で、チームリーダーとして何をすべきか他職種の受講生と意見交換を行った。OJTの活性度を診断し、部下や後輩の指導、育成についても学んだ。この研修を通して、リーダーの役割、責任の重さを改めて感じた。</p>
メンバーシップリー ダー研修	<p>受講者:リーダー層等のスタッフ4名</p> <p>(オンライン研修)</p> <p>職員一人一人がその能力を発揮し利用者ケアができるチーム作りについて、その考え方、進め方など基本的なことを学んだ。</p>
スーパービジョン研 修	<p>受講者:将来チームリーダー等の役割を担うことが想定される職員1名</p> <p>スーパービジョンとは何かをということをはじめ、必要に応じて質問をする専門職としての態度や価値観を言語化して教えていくための知識・技術を学び、スーパービジョンを身近に感じるとともに部下・後輩にかかわる視点を学ぶ。</p>
管理職員研修	<p>受講者:小規模作業所の管理者1名</p> <p>管理職員層に求められる管理者としての役割を遂行するための基本の習得するとともに、組織部門管理者としての能力開発と人材育成や業務改善、問題解決の仕組みづくりについて学んだ。</p>

b リーダー層の研修

研修概要	対象者・研修内容
人事考課者研修	受講者:4 等級以上の役職者 実施月:9 月・10 月・3 月
	施設やチームといった組織が、円滑に仕事をこなせるよう様々なマネジメントを行う役職者の役割と人事考課との繋がりについて、昨年度に引き続いて学んだ。具体的には、人事考課の目的、効果の対象となる行動や業務を通して部下の仕事ぶりが把握できているか。また、定型業務と補助業務について理解を深め、グループワークを通して、等級に見合った業務内容になっているか、或いは適正に評価されているかの検証を行った。
リーダー研修	受講者:4 等級以上のスタッフ及び次世代リーダー29 名
	「現場を回す人から組織を育てる人」となるため、キャリアパスと現状の乖離を整理し、自分に求められている役割を再確認する。職員毎の課題を踏まえた OJT 計画を作成し、計画的な育成と役割分担の実践に繋げていく手法等を学んだ。

イ 良質のサービスの推進

(ア) 事故防止に対する意識の徹底と事故防止委員会の指導強化

事故防止委員会活動の指導強化については、毎月開催している常任理事会で各施設、事業所から本部へ提出された事故報告書を基に、状況確認と事故の背景について検討、対策などの検証を行い、その結果を施設に伝え、事故防止委員会で再発防止に取り組んだ。

(イ) 虐待防止委員会を活発化させ、スタッフに虐待に対する認識の徹底と虐待予防

各施設、事業所で作成した虐待防止委員会計画に沿って取り組んだ。また、担当理事が、7 月に「高知県障害者虐待防止・権利擁護研修」、9 月に「障害者虐待防止・権利擁護指導者養成研修」を受講、法人内の虐待防止委員会研修の講師を務めた。

(4) スタッフの確保への取り組み

ア 人材マネジメントシステムの構築

(ア) 人手不足を解消するため職員採用計画の作成

年度末までに次年度に向けての求人職種、人数を決定し、年度開始後福祉専門学校等を訪問するなど求人活動に取り組んだ。また、福祉就職フェアや事業所説明会には毎回参加し、魅力発信に努めている。さらに、SNS を活用し法人、施設の PR に努めるなど、新たな手法による活動も含めて取り組んだが、成果には繋がっていない。

(イ) 外国人材を受入れ日本での生活、仕事に慣れてもらう取り組み

障害者支援施設こくふに外国人スタッフを雇用するにあたり、5 月から職員への説明などを開始、管理団体から 11 月 17 日に 2 名のスタッフが入国することが決定したと報告を受けた。こくふでは 8 月から技能実習支援資格の取得手続きを開始、10 月にはそれぞれ取得した。その後住宅の確保、生活用品等の準備を進め、予定どおり 11 月 17 日に 2 名が入国、南国市に転入手続きをした。その他やながれゾーンの受け入れ時の対応を参考にすすめ、日常生活上のルールなどを説明、12 月からは担当職員により、利用者、職員の名前を覚えること、1 月から専門学校の実習と同じ体制で OJT を実施している。日本語学習についても 12 月から開始している。令和 7 年 1 月に入職したやながれゾーンの外国人スタッフは、1 年経過し業務に関して困ったことがあると適宜質問が出来ており、変則勤務も OJT 指導を実施して

いる。日本語学習についても委託先から、一定水準に達したと報告があり、12月に日本語検定に2名が合格した。また、地域のイベントへの参加や花見、紅葉見学、母国の友人と県内外への外出を通じて日本文化にも触れている。

#### イ 職員満足度の向上・帰属意識の醸成

##### (ア) 意識調査の実施と課題についての対策

令和5年度に実施したアンケートに基づき、法人全体に関わる内容と施設に関わる項目を整理した。施設の項目は各施設で対応し、法人の項目については法人全体で対応する事とした。法人で取組む内容として、被人事考課者研修の実施を希望する声があり、令和8年度に実施する計画を立てた。その他には制服の見直しがあり、まず事務職員の制服を廃止し、他職種については今後施設で検討することとした。その他人材不足について、通常の求人活動と併せて外国人雇用や、労働条件等の見直しも検討していくこととした。

#### (5) 経営基盤の強化への取り組み

##### ア 施設・事業所の経営改善

##### (ア) 経営分析に基づく経営判断

毎月試算表と併せて施設に提供する資料について、経理担当者が考える目的を施設側が読み取っているかを検討した。添付資料は複数枚あるが、毎月必要か、目的に沿っているかを検討し、①毎月必要添付、②経営会議と年度末試算表に添付、③3月試算表にのみ添付する資料に分け常任理事会で承認をもらい、令和8年4月から実施する事とした。さらに昨今の物価高に対応するため、何をどう伝えるかを検討していく事とした。

##### イ 施設整備事業の実施

##### (ア) 老朽化した八流荘の建て替え

4人部屋多床室を認める条例改正が6月の県議会で決定された。しかし、それは「当分の間の措置として、基準条例施行時に現に存する特養の建替え（3つの特認要件を満たす場合に限り。）とされ、①多床室（3・4人部屋）の整備によらなければサービス提供上の支障が生ずること。②市町村長から多床室の整備による事が必要であることの具体的な理由を期した意見書が提出されること。③入所者のプライバシーへの配慮にかかる措置がなされること。が求められた。高知県長寿社会課と建築に向けて協議をしていくなかで、4人部屋の必要性を問われその都度説明をしてきた。令和8年2月に居室形態、定員数などの説明をした際改めて4人部屋の必要な理由を問われ、本会が説明してきた建築費の高騰、人口減による利用者の減少並びに労働者の確保が困難という理由を説明すると、その理由では認められないとの判断がなされた。安芸市と相談するも同様の回答があり、4人部屋が必要な理由として、高知県が求める4人部屋でなければ利用者へのサービス提供上支障が生じる理由を追加記入した文書を、令和8年3月30日付けで安芸市に提出した。

#### (6) 本部事務局の取り組み

(ア) 最低賃金が大幅に引き上げられた。それに伴い、嘱託職員等の賃金を見直し、それに充当する資金について対応策を検討し、業務執行理事会に提案、決定後職員に周知した。また、令和7年度の処遇改善計画案を策定し、常任理事会に提案、協議決定後届け出を行った。

- (イ) 令和5年1月24日に認証され3年経過した「高知県福祉・介護事業所認証評価制度」の認証更新を申請、令和8年3月17日に認証決定通知を受理した。有効期限は5か年後の令和13年1月31日であり、人材育成、利用者サービスの向上に向けて引き続き取り組んでいく。
  
- (ウ) 外国人材を雇用している高知県内の企業等を対象に、外国人材が『暮らしやすい』、『働きやすい』、『学びやすい』環境づくりを推進するため、積極的に取り組む事業所として認証する、こうち外国人材優良サポート事業者として認証された。承認期間は、令和7年10月1日から令和10年9月30日まで。今後も引き続き外国人雇用について積極的に取り組んでいく。

# 障害者支援施設こくふ 事業報告

## 1 事業の総括

関係法令の遵守と本会の会是に基づき、利用者様の自己決定・自己選択を尊重しながら安心安全な生活と社会参加ができる支援に努めました。

また、利用者様満足・スタッフ満足・経営満足をバランスよく向上する事で『サービス提供の安定化』に努めました。

## 2 事業報告

### (1) サービスの質の向上

ア 福祉 QC 活動の定着 目標：サークルメンバーを固定して QC 活動を実践

イ 定員の見直し 目標：利用の需要を満たしながらサービスの質を向上できる定員にする

福祉 QC 活動の定着は、サークルメンバーを固定して「HIKARE」が 2 年目の活動を実践しましたが、結果が伴わず発表できる成果は得られませんでした。

定員の見直しは、上半期に 80 名定員から 70 名定員への準備を行い令和 7 年 10 月 1 日より定員 70 名にて施設入所支援サービスと生活介護サービスを実施しました。しかし、スタッフの減少や療養もありサービスの質の向上には至りませんでした。

### (2) 計画的な設備改修

ア 空調改修 目標：冷却塔第 I 基で作動している 2 号棟フロアの空調を改修

目標：空調オール電化でも電気が安定供給できる電源を増設

イ ICT 機器アップグレード 目標：使用台数の最適化を行い OS をアップグレード

目標：費用対効果の高い携帯端末運用を検討し必要な回線契約と携帯端末を購入

空調改修は、暖房ボイラー故障に伴い冬季に暖房が使用できるよう計画を変更して実施しました。変更により実施できなかった電源増設と残りの空調改修部分は令和 8 年度に実施予定です。

ICT 機器のアップグレードは、サポート期間終了前にパソコンの台数を整理してアップグレードを実施しました。携帯端末も 3G 回線終了前に携帯端末の台数を整理して使用用途によりコスト削減となる回線契約を実施しました。

### (3) スタッフの確保

ア 外国人材の受入れ 目標：令和 6 年度の外国人雇用 4 名に加え新たに 2 名雇用し、日本での生活と職場に慣れてもらう

法人本部の外国人材の受入れと連動して受入れ準備を行い令和 7 年 11 月 17 日よりインドネシアから特定技能実習生 2 名を迎える事ができました。必要な研修を受講して日本語も対面式と Zoom で学習しながら介護実習を行いました。

令和 8 年度からは一人で業務が実施できる見込みです。

### 3 その他事業報告

(1) 利用状況 ※新規入所5名。退所6名。短期入所実利用者11名

単位：%	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間
施設入所	85.3	80.7	79.6	78.3	82.3	82.8	88.1	93.4	95.7	100	99.9	97.3	88.6
生活介護	83.6	79.1	77.8	76.8	81.4	81.1	87.4	91.6	95.1	98.3	98.6	96.1	87.2
短期入所	33.3	29.0	27.5	26.6	25.0	26.7	22.6	24.2	21.8	41.9	48.2	38.7	30.3

※令和7年10月1日より施設入所と生活介護の定員が80名から70名に変更。

(2) 日中活動

種目	目標	実施内容
室内娯楽	認知能力や感受性の向上	麻雀、映画鑑賞、レクリエーション、ゲーム
運動系	身体機能の維持向上	ボッチャ、視力トレーニング
学習系	知識や感受性の向上	スタディ、習字、俳句、絵画、英会話、買物
音楽系	発声訓練、感受性の向上	カラオケ、音楽鑑賞
園芸系	生産活動、感受性の向上	園芸、生花
外出	社会参加、気分転換	ドライブ、散歩、魚釣り
美活	清潔保持、意欲の向上	口腔ケア、アロマリラクゼーション
美食	気分転換、意欲の向上	ミニ喫茶、移動パン屋、外部注文昼食、TeaTime

(3) 主な年間行事

月	研修・訓練	地域交流・施設行事
4		4/29 天理教比江分教会ボランティア清掃
5	5/28 防災訓練	5/11 地域食堂きぼうのれん参加
6		
7	7/23 感染症対策研修、7/30 防災訓練	
8	8/19 感染症対策研修	
9	9/24 防災訓練	9/24 秋の法要
10	10/21 虐待防止研修・感染症対策研修兼訓練	10/29 こくふ秋祭り、10/31 熊野神社例大祭
11	11/13 虐待防止研修・感染症対策研修兼訓練	11/10 インフルエンザ予防接種
12	12/10 防災訓練	12/15 北陵中学校プランター贈呈 12/25 クリスマス忘年会
1	1/14 防災訓練	1/1 初詣
2	2/26 虐待防止研修	2/3 節分の豆まき
3	3/17 虐待防止研修、3/25 防災訓練	3/6 地域連携推進委員会会議、3/19 春の法要
	定期施設行事	実施時期
	施設運営委員相談受付	第2週木曜日 運営委員による利用者様の相談対応
	預金引出	毎週木曜日 行員が来所、希望者の通帳処理を実施
	理美容	理容：第2週月曜日 美容：第3・4週水曜日 南国市理容組合来所、希望者に理容を実施 スミ美容室来所、希望者に美容を実施
	買物	毎週木曜日 日用品類購入希望の利用者様の買物代行
	衣料品販売	6月・9月 衣料品店来所、商品を利用様が見て購入

## (4) 外部研修

月	研 修 名
5	5/12～5/13 中四国身障協施設長総会兼セミナー
7	7/10～7/11 「福祉QC」入門講座受講
8	8/7～8/8 九州ブロック福祉施設士大会、8/25 経営協セミナー、8/26SNS を活用した情報発信研修、8/28 公正採用選考人権啓発推進員等研修会
9	9/2 福祉サービス苦情解決セミナー、9/10 施設長実学講座第2回(Zoom)、9/29 外国人介護人材受入れセミナー(Zoom)
10	10/8 技能実習責任者講習、10/9 技能実習指導員講習、10/9 リスクマネジメント研修(Zoom)、10/10 技能実習生活指導員講習、10/25 ノーリフティングケア実技研修
11	11/4 高知県障害者虐待防止・権利擁護虐待防止マネージャー実践研修、11/13 福祉施設士会オンライン情報交換会(Zoom)、11/15 南国病院地域オープンセミナー、11/21～11/22 高知県身体障害者(児)施設協会合同職員研修
12	12/3 給食施設関係者研修会
3	3/16～3/31 介護業務実践研修、3/24 高知県身体障害者(児)施設協会合同施設長セミナー(Zoom)

# 相談支援センター アルペジオ 事業報告

## 1 事業の総括

関係法令の遵守と本会の会是に基づき、利用者様の意思及び人格を尊重し、常に利用者様の立場に立った適切な支援の提供に努めました。

また、相談支援専門員としての資質向上のため、高知県障害者虐待防止・権利擁護虐待防止マネージャー実践研修の受講や南国市相談支援専門員連絡協議会に参加することで高品質なサービスの提供に努めました。

## 2 事業報告

### (1) 資質向上

ア 社会資源の把握 目標：行政や専門職の会にて積極的に情報収集

イ 関係機関と連携 目標：関係者が出席しやすい担当者会の実施

ウ 利用者様の状況把握 目標：利用者様の自己決定・自己選択を尊重しながら把握した内容にて支援する

利用者様やご家族から状況を伺い、関係機関と連携をとりながらサービスをコーディネートしました。また、高知県障害者虐待防止・権利擁護虐待防止マネージャー実践研修の受講など相談支援専門員としてのスキルを高め、可能な範囲で利用者様の自己決定・自己選択を尊重した利用計画書を50件作成、モニタリングを202件作成しました。

### (2) 継続判断

ア 高知県下の状況による検討 目標：地域貢献の観点から継続を検討

イ 支出削減の検討 目標：ICT機器を整備、効率的な運用を行いコストダウンを行う

圏域内の相談支援事業所の数に増減はないですが、相談支援専門員一人あたりの担当件数が多く相談支援専門員不足の状況、令和8年度も継続して事業展開を実施する予定です。

令和7年度は令和6年度の報酬単価と変わりはないですが、人件費の自然増加により人件費が増大しました。ICT機器もS0サポート期間終了のパソコンのアップグレードを低コストで実施しましたが、支出削減には至りませんでした。

## 3 その他事業報告

### (1) 利用状況

単位：件	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間
計画作成	1	8	6	1	6	5	0	1	0	5	8	9	50
モニタリング	18	8	11	30	21	19	5	16	17	24	12	21	202
合計	19	16	17	31	27	24	5	17	17	29	20	30	252

## 就労継続支援 B 型事業所ウィール社 事業報告

### 1 事業の総括

本会の会是、『愛情・奉仕・連帯』を遵守し、『10年後を見据えた施設づくり』を目標とし、3年計画の1年目として運営いたしました。利用者満足度の向上を図れるよう取り組みを行うとともに、スタッフ一人一人が自分の役割を認識し、利用者様が安心して働ける場と日中の居場所の提供を行いました。

### 2 事業報告

事業計画(1) 利用者満足度向上に向けた支援を実践し、職員満足度の向上も図ります。

ア スタッフの資質の向上と作業環境の整備を行い、支援体制の充実を図ります。

イ 単身生活者に重点を置き、日常生活の充実を図ります。

ウ 9月、3月に利用者満足度調査を実施し、満足度80%以上を目指します。

ア スタッフの資質と知識の向上を図るため、法人内外の研修に積極的に参加し、全スタッフが研修を受講しました。ネットショップの運営やインスタグラムのフォロワー獲得に向け、デジタル系の研修を中心に受講しました。研修の受講状況は下記のとおりです。

#### スタッフの研修参加状況

研修・セミナーの名称	開始日時	主催者	参加者
令和7年度高知デジタルカレッジ(ZOOM) ・デジタル化で売上と利益を伸ばした「デジタルマーケティング戦略成功事例10選」 ・DMの基本と戦略立案 ・DMの実践と広告運 ・10分でできるスマホ動画活用講座 スマートデバイス活用 ① スマホ動画活用 基礎から応用へ ② 動画コンテンツの運用戦略と仕組みづくり	7/29  9/11 9/18 11/6 11/28 12/5	高知県	サビ管1名  サビ管1名 サビ管1名 スタッフ1名  サビ管1名 サビ管1名
令和7年度福祉施設士会九州ブロックセミナー(長崎県)	8/7-8	九州福祉施設士会	所長1名
令和7年度就労選択支援研修	8/13	高知県	サビ管1名
令和7年度生産性向上支援訓練 SNSを活用した情報発信	8/26	高知県介護労働安定センター	所長1名
令和7年度福祉サービス苦情解決セミナー	9/2	高知県社会福祉協議会	サビ管1名

第 54 回中四国社会就労センター協議会職員研修会（鳥取県）	9/18-19	中四国社会就労センター協議会	スタッフ 1 名
第 46 回全国福祉施設士セミナー（東京都）	10/2-3	日本福祉施設士会	所長 1 名 サビ管 1 名
第 39 回中四国ブロック福祉施設士セミナー香川大会	10/30-31	中四国福祉施設士会	所長 1 名
令和 7 年度高知県障害者虐待防止・権利擁護虐待防止マネージャー実践研修	11/4	高知県	サビ管 1 名
福祉職場の中堅職員ステップアップ研修～後輩職員の指導・育成について～	11/6	高知県	サビ管 1 名
令和 7 年度高知県身体障害者（児）施設協会・高知県社会就労センター協議会合同職員研修会	11/21-22	高知県身体障害者（児）施設協会・高知県社会就労センター協議会	全スタッフ 7 名
令和 7 年度中四国社会就労センター協議会施設長研修会（香川県）	12/3-4	中四国社会就労センター協議会	所長 1 名
人材育成やマネジメントに関する研修	1/21	土佐厚生会	所長 1 名 サビ管 1 名
令和 7 年度日本セルフ士会視察研修会（徳島県）	1/22-23	日本セルフ士センター	スタッフ 1 名
令和 7 年度高知県専門コース別研修（意思決定支援）	1/30	高知県	サビ管 1 名
令和 7 年度法人就労部会	1/31	土佐厚生会就労部会	全スタッフ
令和 7 年度福祉職場の ICT 利活用研修「生成 AI の基礎と実践」	2/24	高知県	スタッフ 1 名
令和 7 年度全国社会就労センター長研修会（東京都）	2/26-27	全国社会就労センター協議会	所長 1 名
令和 7 年度高知県工賃向上セミナー （第 1 回） （第 2 回） アーカイブ	1/23 1/28 3 月中	高知県	サビ管 1 名 サビ管 1 名 他全スタッフ
福祉職員の新任ステップアップ研修	3/11	高知県	スタッフ 1 名
令和 7 年度高知県高次脳機能障害及びその関連障害に対する支援普及事業	3/12	高知県社会福祉協議会	サビ管 1 名
令和 7 年度高知県身体障害者（児）施設協会・高知県社会就労センター協議会合同施設長研修会（ZOOM）	3/24	高知県身体障害者（児）施設協会・高知県社会就労センター協議会	所長 1 名
令和 7 年度高知県社会福祉法人経営協 ・社会福祉の動向と全国経営協の取組 ・社会福祉法人 2040 年には間に合う？ ・広域災害における実務的相互支援	5/13 8/25 3/13	高知県社会福祉法人経営者協議会	所長 1 名 所長 1 名 所長 1 名

イ 単身生活者の日常生活の充実に重点を置き、買物支援や健康管理、行政手続き、介護認定調査対応等を行い、利用者様が安心して日常生活を送ることができるよう支援を行いました。

ウ 9月、3月に利用者満足度調査を行いました。

利用者満足度調査実施【年2回・回答者 のべ48名】

	満足度	意見
施設の満足度	9月【88.5%】 (100%：16名)  3月【87.5%】 100%：14名	<ul style="list-style-type: none"> <li>・困り事ないけど75%</li> <li>・体調のすぐれない時がある</li> <li>・食事が美味しくない</li> <li>・作業が楽しい(いりこ、型抜き等)</li> <li>・工賃をもう少し上げてほしい</li> <li>・皆と仲良くできている</li> </ul>
家庭生活の満足度	9月【88.5%】 (100%：15名)  3月【78.1%】 (100%：11名)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・特に不満、困り事なし</li> <li>・買物が不便</li> <li>・家族との関わり(協力あり・不和)</li> <li>・親の介護、体調不良が心配</li> <li>・家庭の悩み(言えないけど)</li> <li>・退屈</li> </ul>

施設、家庭生活の9月アンケート実施時は満足度80%を超えていましたが、3月のアンケート時には、家族関係の悩み等が増え、80%を割っていました。今後の支援の参考にし、対応していきます。

事業計画(2) 安定した施設運営を実施します。

ア 利用契約者22名、稼働率105%を達成します。

イ 就労事業収入対前年度比105%を達成し、平均工賃¥30,000にチャレンジします。

ウ ネットショップを軌道に乗せ、オリジナル商品の全国展開を図ります。

ア 経営の安定化を図るため利用者様の確保に努め、利用契約者22名、稼働率105%を目標としておりましたが、1名の契約(12月)、2名の退所(1月)があり、利用契約者23名、年間稼働率100.5%となりました。

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間
令和7年度	契約者数	24	24	24	24	24	24	24	24	25	23	23	23	23.8
	開所日数	22	21	22	23	21	21	23	20	21	20	19	22	255
	延べ人数	462	430	461	465	425	416	455	374	437	388	381	430	5129
	1日平均	21.0	20.8	21.0	20.2	20.2	19.8	19.8	18.7	20.8	19.4	20.0	19.5	20.1
	稼働率%	105.0	102.4	104.8	101.1	101.2	99.0	98.9	93.5	104.0	97.0	100.3	97.7	100.5
6年度	契約者数	24	23	23	23	23	23	23	23	23	24	24	25	23.4
	延べ人数	433	432	406	407	345	367	393	399	407	384	402	457	4832
	稼働率%	103.1	98.2	96.7	92.5	90.8	91.8	85.4	95.0	96.9	91.4	105.8	108.8	96.3

イ 就労部門売上対前年度比105%以上の売上を目標としておりましたが、印刷部門の落ち込みが大きく、事業所全体では対前年度比90.8%でした。しかし、外注比率の減少等

もあり収益率は向上、就労会計は黒字となりました。平均工賃も¥28,196となり前年度より¥427アップしました。実績は下記のとおりです。

作業名		令和6年度	令和7年度	予算(目標)	対前年度比
印刷部門		¥18,919,819	¥16,142,269	¥16,000,000	85.3%
うち UVプリンタ		¥1,702,854	¥1,741,585	¥2,400,000	102.3%
精米部門		¥5,583,807	¥5,750,244	¥6,000,000	103.0%
軽作業部門		¥2,087,849	¥2,268,573	¥2,000,000	108.7%
内訳	南国ミロク	¥1,242,868	¥1,313,883	¥1,200,000	105.7%
	やまくに	¥322,958	¥442,825	¥300,000	137.1%
	ミニパック	¥48,841	¥82,969	¥60,000	169.9%
	富士紙化学	¥85,152	¥51,480	¥180,000	60.5%
	ファースト	¥0	¥35,000	¥0	0%
	高生連	¥74,477	¥78,081	¥78,000	104.8%
	その他	¥313,553	¥264,335	¥182,000	84.3%
その他		¥42,020	¥19,050	¥40,000	45.3%
合計金額		¥26,633,495	¥24,180,136	¥24,040,000	90.8%
平均工賃		¥27,769	¥28,196	¥28,000	101.5%

ウ 昨年度よりネットショップを開設し、UV印刷でのオリジナル商品や絵本作家柴田ケイコ氏のキャラクター商品の販売を始めています。また、周知活動のため、インスタグラムのフォロワー獲得の活動を行いましたが大きな成果は得られず、8年度以降の課題となりました。

#### 事業計画(3) 課題解決・業務改善への取組

##### ア 福祉QC活動の推進

##### ① 福祉QC活動を推進

- ② メンバー間でコミュニケーションを取り、それぞれの視点を持って課題解決に努める

ア テーマを、『Instagramのフォロワー獲得に向けて』とし、全スタッフで福祉QC活動を実施し、課題解決への取組を行いました。知恵と行動力を発揮し目標達成を目指しましたが、目標の1,000人には遠く及ばず241名の結果となり、8年度以降も活動を継続していきます。活動報告は1月の法人就労部会にて発表しました。

### 3 その他事業報告

#### (1) 年間行事

行事名	開催日	実施内容
法要(秋、春)	9/24、3/19	国分寺住職による法要を開催
外出(春)	5/29	桂浜へ外出、買物や水族館を楽しむ。
(秋)	11/18	ファーストと合同で中土佐町黒潮本陣等へ外出。
忘年会	12/26	年末恒例の忘年会を実施。食事、カラオケ、ビンゴ大会を開催

花見	R8. 3. 30	高知県歴史民俗資料館へ散策
園芸クラブ	随時	コーポ利用者様と共にプランターへ植栽

#### (2) 日常生活支援

項目	日時	支援内容
体重血圧測定	毎月 1 回	毎月工賃支給日に実施、通院時等に情報提供。
訪問販売	毎週水曜日	サンプラザ移動販売車両が来所、希望者は自身で嗜好物を購入。
食事委員会	6/19、12/19	管理栄養士、委託業者と給食について意見交換。

#### (3) 防災避難訓練実施状況

訓練等	実施日	内容
地震・水害訓練	5/30 【利用者 20 名、スタッフ 7 名参加】	発電機操作、南海トラフ地震を想定し、屋外への避難後コーポ 2 階へ垂直避難
	8/30 【利用者 16 名、スタッフ 6 名参加】	発電機操作及び、発災想定後、屋外非難その後水害を想定しコーポ 2 階へ避難
	11/29 【利用者 16 名、スタッフ 5 名参加】	ラインワークスを使用し、安否確認 屋外避難後、垂直避難実施
	2/27 【利用者 19 名、スタッフ 6 名参加】	防災備品確認、負傷者担架にて避難場所まで移送
火災訓練	6/26 【利用者 22 名、スタッフ 4 名参加】	消防への通報訓練、屋外への避難訓練
	3/25 【利用者 21 名、スタッフ 4 名参加】	消防への通報訓練、屋外への避難訓練 消火器訓練実施
夜間通報訓練	12/10 【こくふゾーン】	緊急連絡網を使用した通報訓練

#### (4) スタッフの配置状況

職種	常勤換算	職員数
所長（管理者）	0.7	1 名（兼）
サービス管理責任者	2.0	2 名
生活支援員（相談）	1	1 名（新採）
職業指導員	3.3	4 名（兼）
事務員	0.5	1 名（中途）
送迎運転手	0.8	3 名
計	8.3	11 名

4月に生活支援員（相談）を新採職員で1名、11月に職業指導員兼主事を中途採用しました。また、令和7年3月末に送迎運転手（朝夕対応）退職に伴い、送迎運転手を4月（朝のみ対応）、6月（夕のみ対応）にそれぞれ1名採用し対応しています。

(5)施設への苦情等件数

受付先	件数
苦情等の申し出窓口	0
施設運営委員会	0

(6)補助金を活用し物品の購入を行いました。

補助金	金額	購入品
I C T導入支援補助金	¥217,000	編集用パソコン2台、モニタ1台
生産活動支援事業費補助金	¥750,000	山櫻製 封筒用印刷機



## 就労継続支援 B 型ワークセンターファースト 事業報告

### 1 事業の総括

本会の会是、『愛情・奉仕・連帯』を遵守し、れいほく地域で安心安全に自立生活を送ることができるよう支援を実践し、安心して働ける場と日中の居場所としての役割を果たしました。「10年後を見据えた施設づくり」を目標に安定した施設運営ができるよう体制整備に努め、結果当期資金収支差額合計は¥6,000,000 を超える黒字となりました。

### 2 事業報告

事業計画(1) 利用者満足度向上に向けた支援を実践し、職員満足度の向上も図ります。

ア スタッフの資質の向上を図り、支援体制の充実を図ります。

イ 地域特性に応じた日常生活の充実を図ります。

ウ 9月、3月に利用者満足度調査を実施し、満足度目標 80%を達成します。

ア スタッフの支援力の向上を高めるため、全スタッフが積極的に研修を受講し、資質及び知識の向上を図りました。

#### スタッフの研修参加状況

研修・セミナーの名称	開始日時	主催者	参加者
高知県就労選択支援セミナー	8/13	高知県	生活支援員（相談）1名
第54回中四国社会就労センター協議会職員研修会（米子市）	9/18-19	中四国社会就労センター協議会	サビ管1名
R7年度高知県サービス管理責任者実践研修	10/14-15	高知県	生活支援員（相談）1名
R7年度高知県障害者虐待防止・権利擁護マネージャー研修	11/4	高知県	サビ管1名
R7年度高知県身障協・高知県セルフ協合同職員研修会	11/21-22	高知県身体障害者施設協会・高知県社会就労センター協議会	サビ管1名
R7年高知県工賃向上セミナー （第1回） （第2回） アーカイブ	1/23 1/28 3月中	高知県	サビ管1名 サビ管1名 全スタッフ
法人就労部会	1/31	土佐厚生会就労部会	全スタッフ
生産性向上推進フォーラム	3/9	厚生労働省	サビ管1名

作業については、環境整備を実施し、利用者様が能力を發揮できるよう、自助具やマニュアルの作成を行いました。また、下記のように外出行事等も定期的実施し、リフレッシュを図りました。

行事	実施日	実施内容
イベント参加	9/17 れいほくデイケア交流会 11/2 大豊町民文化祭 12/7 こころんフェスタ 2/25 あったかハートふれあい大会	利用者様6名参加 スタッフ2名物販参加 高知市中央公園へ利用者様4名参加 利用者様13名参加
清掃活動	10/21 嶺北中央病院駐車場 11/19 末広ショッピングセンター駐車場	たばこ組合様の清掃活動に利用者様スタッフ延べ8名が参加
外出行事	4/17 自治会行事 6/9 春の外出 8/30 朝ドラ『あんぱん展』 11/18 秋の外出 3/30 花見	紀貫之邸散策 高知城歴史博物館 本山町さくら市 中土佐町・黒潮本陣他 本山町上街公園
クリスマス忘年会	12/22	大豊町長を含む地域より4名招待し開催

イ 地域特性に応じた支援では、選挙の期日前投票への引率や、買物支援、行政手続等の支援を都度行いました。

ウ 9月、3月に利用者満足度調査を実施しました。

#### 利用者満足度調査実施【年2回・回答者 のべ25名】

	満足度		意見
施設の満足度			
【作業】	9月【75%】	3月【94%】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・別の作業もしてみたい</li> <li>・苦手な職員がいる</li> <li>・床が気になる</li> </ul>
【職員】	9月【77%】	3月【88%】	
【支援計画】	9月【71%】	3月【92%】	
【施設】	9月【75%】	3月【75%】	
【送迎】	9月【83%】	3月【96%】	
家庭生活の満足度			
【日常生活】	9月【79%】	3月【87%】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・引越後整理ができていない</li> <li>・相談相手がいない</li> </ul>
【相談】	9月【85%】	3月【83%】	
【支援計画（生活）】	9月【89%】	3月【90%】	

施設設備について指摘事項があり、今後の課題として検討。

事業計画(2) 安定した施設運営を実施できるよう体制整備を行います。

ア 利用契約者12名、平均稼働率100%以上を目指します。

イ 就労事業収入5%アップを目指します。

ア 安定した施設運営を行うため、利用者様の確保を進め、平均利用契約者数 12.9名、平均稼働率105.3%（前年度98.6%）を達成しました。

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間
令和7年度	契約者数	12	13	13	13	13	13	13	13	13	13	13	13	12.9
	開所日数	22	21	22	23	21	21	23	20	22	20	19	22	256
	延べ人数	222	228	237	245	225	223	238	187	227	212	212	240	2696
	1日平均	10.0	10.8	10.8	10.7	10.7	10.6	10.3	9.4	10.3	10.6	11.2	10.9	10.5
	稼働率%	100.9	108.6	107.7	106.5	107.1	106.2	103.5	93.5	103.2	106.0	111.6	109.1	105.3
令和6年度	契約者数	12	12	12	12	12	12	13	13	13	13	13	13	12.5
	延べ人数	204	219	210	214	182	199	231	204	224	204	187	207	2485
	稼働率%	97.1	99.6	100	97.3	95.8	99.5	100.4	97.1	101.8	97.1	98.4	98.6	98.6

イ 年間売上¥2,825,068（対前年度比93.6%）で目標達成はなりませんでしたが、平均工賃は¥18,963となり前年度実績より¥381のアップを図ることができました。  
売上、工賃実績は以下のとおりです。

作業名		令和6年度	令和7年度	予算（目標）	対前年度比
印刷受注窓口		¥535,536	¥466,620	¥500,000	87.1%
受託作業部門		¥2,172,698	¥2,112,943	¥1,900,000	97.2%
内訳	ミニパック	¥152,388	¥152,892	¥150,000	100.3%
	碁石茶組合	¥210,285	¥202,321	¥240,000	96.2%
	南国ミロク	¥486,904	¥523,908	¥525,000	107.6%
	とさちよう物語	¥209,695	¥164,186	¥100,000	78.3%
	こだかさ	¥140,100	¥167,040	¥180,000	119.2%
	末広	¥123,119	¥84,027	¥115,000	68.2%
	道の駅等清掃	¥780,000	¥780,000	¥520,000	100%
	その他	¥70,207	¥38,569	¥70,000	54.9%
その他		¥310,522	¥245,505	¥200,000	79.0%
合計金額		¥3,018,756	¥2,825,068	¥2,600,000	93.6%
平均工賃		¥18,602	¥18,983	¥20,000	102.0%

事業計画(3) 課題解決・業務改善への取組

ア 福祉QC活動の推進

(ア) 福祉QC活動を推進

(イ) メンバー間でコミュニケーションを取り、それぞれの視点を持って課題解決に努める

ア 『安定した施設運営のために～業務引継ぎの最適化と人員不足対策～』をテーマに全スタッフが参加し、福祉QC手法にて課題解決や業務改善に努めました。

活動報告は、1月の就労部会にて発表しました。

### 3 その他事業報告

#### (1) 防災避難訓練実施状況

訓練等	実施日	内容
火災避難訓練	10/30、1/23	給湯室等からの出荷を想定し、屋外への避難訓練実施
地震避難訓練 (土砂災害想定訓練)	7/24、 11/28	南海トラフ地震を想定し、発災3分後に防災頭巾を着用し、屋外へ避難
(BCP想定訓練)	3/28	マニュアル確認実施
風水害訓練	8/22	送迎車両まで避難し、待機

#### (2) スタッフの配置状況

職種	常勤換算	職員数
所長(管理者)	0.2	1名(兼)
サービス管理責任者	1	1名
生活支援員(相談)	0.5	0.5名(兼)
職業指導員	1.5	1.5名(兼)
送迎運転手	0.3	1名(兼)
計	3.5	5名

7月末に、開設以来在籍していたサービス管理責任者が定年退職し、生活支援員(相談)のスタッフを11月よりサービス管理責任者に配置いたしました。また、12月より職業指導員を1名採用しております。

(3) 令和6年度より不在となっていた施設運営委員が8月に契約でき、9月より2か月に1度訪問していただけています。

(4) 9月1日に高知県の実地指導を受け、特に問題なく口頭指導で完了いたしました。

# 障害者福祉ホームコーポラスこくふ 事業報告

## 1 事業の総括

『10年後を見据えた施設づくり』を目標とし、3年計画の1年目として運営してきました。利用者様一人一人のニーズや思いに寄り添い、地域社会の一員として安心安全に自分らしく生活を送ることができるよう支援し、環境の整備等も行いました。利用者様の確保が進まず、稼働率 83.4%（前年度 85%）の実績となり、当期資金収支差額は▲¥1,289,371 となりました。

## 2 事業報告

事業計画(1) ニーズに沿った環境の整備を実施いたします。

ア 住みやすい環境の整備を行います。

イ 日中の活動の充実を図ります。

ウ 利用者様に満足度調査を実施し、満足度 80%以上の達成を目指します。

ア 施設内外の環境整備や突発的な修繕に対応しました。かねてより利用者様の要望にあった WI-FI 環境の整備を行いました。館内全域利用者様ごとのパスワードにて管理でき、スマートフォンやパソコン等が快適に使える環境となりました。また、浄化槽や給湯器、消火設備の入替や修繕も迅速に対応しました。

イ 6月より日用品を購入しやすくするために、ウィール社の送迎便を利用し近隣のドラッグストアに月2回行くよう体制整備を行いました。休日の過ごし方や趣味活動につきましては、情報提供や花きのプランターへの植栽のみとなっております、8年度以降に実施できるよう準備を進めてまいります。

ウ 3月末に利用者満足度調査を行いました。（対象利用者様：9名）

項目	満足度	意見・要望
生活全般	83.3% (75%以上 9名)	・勤務先が近い ・不自由なく暮らせている ・困りごとはない
食事	66.7% (50%以下 3名)	・不満、不満な時がある(3名) ・魚が多い
買物	89.1% (100% : 4名)	・送迎があるから便利(3名) ・さらに回数を増やしてほしい(2名)
今後の要望		・釣り、麻雀等をしたい ・このままの生活を続けたい

生活や買物の満足度は 80%を超えていましたが、食事に不満がある方が多く、66.7%の結果となりました。今後の課題にしていきます。

事業計画(2) 経営の安定化を図ります。

ア 利用者様の確保を進め、稼働率 95%以上を確保します。

イ 経費の削減に努めます。

ア 利用者様の確保を進め、稼働率 95%以上を目標としていましたが、利用契約者の確保ができず、稼働率は 84.2%でした。空室情報記載のチラシを作成し、7月、11月に各関係機関 68 事業所に F A Xにて提供しました。問合せはありましたが契約には至りませんでした。また利用者様の高齢化が進み（平均年齢 63.9 歳・最高齢 74 歳／最年少 40 歳）、介護保険への移行やヘルパーの活用等の支援も実施いたしました。入居者の増減は下記のとおりです。

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	年間
入居者	8名						9名						8.4名
稼働率	80%						90%						84.2%
前年度	80%						90%						85%
備考	11/27 K様入院先より入居。												

イ 経費の削減を図るため、共有部分の電気使用量の管理を実施しました。また、9月には水道料金の急増に気づき、漏水を発見、迅速に修繕することができ、支出を最小限に抑えることができました。電気使用料金の推移は下記のとおりです。

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	年間
R 7 年度 実績①	¥194,861			¥203,505			¥207,255			¥240,616			¥846,237
R 6 年度 実績②	¥182,423			¥209,813			¥199,795			¥268,463			¥860,494
差額①-②	¥12,438			▲¥6,308			¥7,460			▲¥27,847			▲¥14,257
備考	金額は、事業費+事務費の合計金額												

### 3 その他事業報告

(1) ウィール社と連携し防災訓練を実施しました。

訓練等	実施日	内容
地震・ 水害避難訓練	5/30【利用者7名、職員2名参加】 8/30【利用者5名、職員2名参加】 11/29【利用者7名、職員2名参加】 2/27【利用者5名、職員2名参加】	南海トラフ地震を想定し、発災3分後にヘルメット着用し、ロビーや屋外へ避難、集合。その後、左右山川の氾濫を想定し、コーポ2階へ垂直非難実施
火災避難訓練	6/26【利用者5名、職員2名参加】 3/25【利用者5名、職員2名参加】	消防署への通報訓練及び屋外への避難訓練及び消火器使用訓練実施
火災通報訓練	12/10【宿直者対応】	緊急連絡網にて夜間通報訓練実施
火災報知器点検	5/16（濱田ポンプ） 11/27（高知県消火栓標識）	消防機器点検 誘導灯、消火設備等指摘事項改善

(2) 物価高騰、WI-FI 環境整備に伴う価格改定

食材費や人件費、電気・ガス料金等物価高騰のほか、WI-FI 環境の整備に伴い、下記の内容にて料金の改定を実施しました。入浴料金、共益費は平成6年の開設以来改定しておりませんでしたが、利用者様、家族様に通知文書を出し、ご理解を得た上で値上げをさせていただきました。

	値上げ前	値上げ後	変更日
夕食費	620円	640円	令和7年7月1日
入浴料金	57円	87円	令和7年7月1日
共益費	2,000円	3,500円	令和7年9月1日

# 障害者支援施設ステージ桜が丘 事業報告

## 1 事業の総括

利用者様に対して、安心・安全に日常生活を過ごしてもらうことを基本方針として、楽しい施設生活の提供に努めたが、感染症クラスター発生時に誤薬事故を起こすなど、安全な支援の徹底として十分といえない状況があり、基本に即した服薬手順に関する OJT 指導をしました。

2025 年度は、当初より毎月平均 2 名以上の入院者の発生と新規利用者の獲得が思うように進まず、目標稼働率を大きく下回る結果となりました。

営業活動の成果として、入所や利用の問い合わせや申し込みは一定数あるものの、障害特性に応じた環境設定や医療ニーズ対応、加害行為等の理由により受け入れを断念するケースが例年以上の多かったと感じています。

人材育成に関しては、新人育成だけでなく、外国人材も日本語理解力等の向上に伴い、OJT などの実践が実りつつあり、業務的にも自立してきたことから、変則勤務・独立業務が任せられるようになってきました。

## 2 事業報告

### 事業計画(1) サービスの向上

会是に基づく支援の提供を目標とし、接遇教育の実施と各部署の役割と支援内容の明確化を行い、利用者は「お客様」の気持ちをもってサービス提供を行います。また、日中活動の充実や障害特性の学習を行い、ご利用者満足に繁栄できるよう努めます。

ア 接遇教育の実施

イ 委員会活動の強化

ウ 日中活動の充実

エ 障害特性についての学習

接遇教育の一環として、虐待防止委員会が作成した年間目標や半期ごとのスローガンを朝礼時に復唱、会是に基づく支援の浸透、接遇や支援姿勢の意識付けに取り組みました。

虐待防止アンケートの回答を参考に人事考課時の個別面談や指導等に活用し、職員個々のモチベーションや支援力向上に努めました。

また、サービスの向上を目指してマニュアルの見直しや外部コンサルタントを活用した勉強会を実施し、知的障害に関する基礎的な知識の取得に向けて取り組みを行いました。

今後も、対象者の拡充やより実践的な支援方法の検討など、引き続き取り組んでいきます。

### 事業計画(2) 経営の安定

稼働率 96% を目標として、利用者確保及びスタッフの確保に努めます。ステージ桜が丘の活動や方針を対外的に広く知っていただけるよう、広報誌の充実を図ります。

また、外国人材の受入れ及び活用を行い、安定した人材確保を目指します。

ア 稼働率向上

イ 外国人材の育成

新規利用者の獲得や活動内容の周知を目的とした広報紙は計画通り年 3 回の発行することができました。

営業活動計画を作成し、行政及び福祉事務所等への営業活動と施設の空床状況など情報発信を行ったが、加害行為や医療的ニーズの高い申込みや問い合わせが増加傾向にあり申込件数に対して、期待するような新規利用者獲得にはつながりませんでした。

また、年度当初より入院者が常時 2 名以上発生し、年間延べ約 790 人となり、稼働率は低迷する結果となりました。

年間平均稼働率は、施設入所稼働率 88.6%、生活介護稼働率 90.4%、短期入所 52.3% で 2025 年度が終了となり、短期入所以外の事業では目標稼働率達成ができませんでした。

外国人材は、日常業務も自立し任されることが増え、現在は日勤帯のすべての業務に入る

ことができるようになりました。

また、日々の支援に対しても、困っていることなどがあれば都度対応するようにしており、日常生活でのトラブルも発生していません。

日本語支援では、令和7年12月7日に日本語検定受験（N3）やオンライン学習の修了など、日本語能力の向上とともに自力で県内外への旅行をするなど生活の質も向上しています。

事業計画(3) 課題解決・業務改善への取組み  
 ア 福祉QC活動の推進  
 ① 福祉QC活動の実践をとおして、施設の課題解決・業務改善に取り組む。

今年度は生活支援員を中心としたメンバー構成にし、年度当初より課題の抽出を実施し、テーマを「居室担当として利用者様と関わる時間を増やしたい」に選定を行い積極的に取り組みました。令和7年12月9日の全国QC発表大会に参加し発表を行いました。

### 3 その他事業報告

#### (1) 月別稼働率の状況

##### ア 稼働率（単位：％）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間
施設入所	95.0	93.2	89.5	89.5	87.0	87.5	87.5	88.8	87.5	83.5	88.1	85.9	88.6
生活介護	96.5	95.7	91.0	91.3	88.3	88.6	88.3	90.5	89.6	88.1	89.9	87.0	90.4
内 入所	94.2	94.3	89.5	89.5	86.1	86.2	86.9	88.0	87.3	86.0	87.6	85.1	88.4
訳 通所	2.4	1.4	1.5	1.8	2.2	2.5	1.4	2.5	2.3	2.1	2.3	1.8	2.0
短期入所	86.7	83.9	31.7	19.4	45.2	45.0	25.8	63.3	56.5	43.5	57.1	69.4	52.3

#### (2) 年間行事等

##### ア 施設の行事

##### イ) 日中活動

種目	目標	実施内容
室内 娯楽	<ul style="list-style-type: none"> <li>認知能力や感受性の向上</li> <li>協調性を養う</li> <li>心身のリラックス</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>オセロ・かるた・トランプ</li> <li>映画鑑賞・カラオケ・楽器演奏</li> </ul>
運動	<ul style="list-style-type: none"> <li>心身のリラックス</li> <li>身体の動き</li> <li>筋力、機能維持</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ボーリング・風船バレー・卓球・つり</li> <li>ボッチャ・周回歩行</li> </ul>
学習	<ul style="list-style-type: none"> <li>集団（社会）適応能力を高める</li> <li>手指の細かい動作能力を高める</li> <li>認知能力を高める</li> <li>協調性を養う</li> <li>思考性を養う</li> <li>感受性を向上させる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ぬり絵・計算ドリル</li> <li>パズル・クイズ</li> <li>生花・飾り物制作</li> </ul>
作業	<ul style="list-style-type: none"> <li>手・指の操作性</li> <li>身体の動き</li> <li>観賞、食する喜び</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>園芸（野菜、果物、花の栽培）</li> <li>作物、畑の手入れ、収穫</li> <li>調理</li> </ul>
外出	<ul style="list-style-type: none"> <li>気分転換</li> <li>社会参加</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>買物・ドライブ</li> <li>花見</li> </ul>

## (イ) 年間行事

行事名	実施月	備考
花見外出	4月	外出先：安芸広域公園（内原野）
外注（いろいろパン）	7月	利用者のリクエストに対応 委託業者と連携して実施
安芸市納涼花火大会観覧	8月	施設屋上・1階テラス・駐車場から観覧
外注（ケーキ）	4月 9月	利用者のリクエストに対応 安芸市内の菓子店メニューで選択
焼き芋	11月	石焼き芋を実施
クリスマス会	12月	会食・出し物・くじ引きを実施
外注（すきやき）	1月	利用者のリクエストに対応 委託業者と連携して実施
節分豆まき	2月	鬼の出現と豆まきで邪気払いを実施

## (ウ) 生活利便のサービス

	内 容	対象
預金引出	希望者様の通帳処理を実施	入所
移動スーパー	毎週金曜日の午前中に移動スーパーが来所、利用者様が事前注文した生活物品を購入。	入所
散髪	geek 美容院（第3火曜）・中平理容店（第2・4木曜）に来所し、希望者の散髪を実施。	入所・短期・生活

## イ 地域住民等との交流

交流名	実施月	備考
よさこい踊り（演舞）	8/1	安芸市市役所よさこいチーム・阿波踊り「連」の訪問、2チームにより演舞の披露。
ハロウィン	11/2	商店街のハロウィンイベントへ参加し、子ども達へ綿菓子を配布。
秋神祭	11/8	西八幡宮の秋神祭に参加、自施設や商店街など神輿の巡行を協力。
福祉ふれあいバザー	10/26	福祉ふれあいバザーへ参加し、出店（焼きそば・日用品等）を出店・販売。
スマイル交流会	12/6	安芸市の障害者関連事業所（16事業所）が集まりスポーツ等交流イベント開催。 事業所ブースの開設、同時開催した「スピリッツアートinあき」へ施設利用者の作品を出品・「団体賞」を受賞。
西浜市民会館意見交換会	定期開催	地域住民や関係団体等との行事案内や意見交換に参加し、協力体制の構築を目標に実施

## (3) 防災訓練及び避難訓練等の実施状況

	時 期	合 計
火災	4/9・6/25・1/14	3回
地震	5/7・10/1・12/10・3/11	4回
風水害	8/20	1回

## (4) 施設への苦情等件数

受 付 先	計
意見箱への投函	0
施設運営委員会(月例会)	0

## (5) スタッフの配置状況(令和8年3月31日現在)

職種	常勤 換算	常勤 (人)	非常勤 (人)	職種	常勤 換算	常勤 (人)	非常勤 (人)
施設長(管理者)	1	1	0	理学療法士	1	1	0
サービス管理責任者	1.5	2	0	管理栄養士	1	1	0
医師(嘱託医)	0.1	0	1	事務員	1	1	0
看護職員	3.8	3	1	用務員・技師	2.2	1	2
生活支援員(介護)	26.8	22	8	夜間警備員	1	0	3
生活支援員(相談)	0.5	1	0	合計	39.9	33	15

## (6) スタッフの外部研修への参加状況

研修・セミナーの名称	開催時期	主催	参加者
安全運転管理者研修	5月	安全運転管理者協議会	事務員
中・四国身体障害者施設協議会施設 長研修会	5月	中・四国身体障害者施設 協議会	施設長
実習指導者講習会	6月	高知県福祉施設士会	生活支援員
福祉QC入門講座	7月	日本福祉施設士会	生活支援員
中堅職員研修	7月	高知県社会福祉協議会	生活支援員
介護助手導入スタートアップセミ ナー	7月	高知県社会福祉協議会	施設長
高知県社会福祉法人経営青年会セ ミナー	7月	高知県社会福祉法人経営 青年会	施設長
高知県障害者虐待防止・権利擁護研 修	7月	高知県社会福祉協議会	施設長
高知県災害時の心のケア活動研修 会	7月	高知県	施設長
日本福祉施設士会九州・沖縄ブロ ックセミナー	8月	九州・沖縄ブロック福祉 施設士会	施設長
高知県障害者虐待防止・権利擁護研 修	8月	高知県社会福祉協議会	生活支援員
感染症対策研修会	9月	安芸福祉保健所	看護師 生活支援員

中堅職員研修	9月	高知県社会福祉協議会	生活支援員
全国身体障害者施設協議会研究大会	9月	全国社会福祉協議会	施設長
リスクマネジメント研修会	10月	高知県社会福祉法人経営者協議会	施設長・生活支援員
虐待防止・権利擁護研修	10月	基幹相談支援センターニコスマイル	サービス管理責任者・生活支援員
チームリーダー研修	10月	高知県社会福祉協議会	サービス管理責任者
高知県障害者虐待防止・権利擁護研修	11月	高知県社会福祉協議会	サービス管理責任者
高知県身体障害者施設協会施設長セミナー高知県社会就労センター協議会合同管理者研修会	11月	高知県身体障害者施設協会 高知県社会就労センター協議会	施設長・サービス管理責任者
中堅職員ステップアップ研修	11月	高知県福祉人材センター	生活支援員
中・四国身体障害者施設協議会スキルアップ研修	11月	中・四国身体障害者施設協議会 徳島県身体障害者施設協議会	施設長
メンバーシップリーダー研修	11月	福祉研修センター	生活支援員
「福祉QC」全国発表大会	12月	日本福祉施設士会	生活支援員
高知県社会福祉法人経営青年会セミナー	2月	高知県社会福祉法人経営者協議会	施設長
地域で安心して暮らすための成年後見セミナー	2月	高知県社会福祉協議会	施設長

# 特別養護老人ホーム八流荘 事業報告

## 1 事業の総括

本年度は入所者の重度化および新規申込者の減少により、稼働率の安定確保が課題となりました。また、介護・看護スタッフの不足感により人員体制が不安定となり、施設運営全体に影響が生じました。こうした中、新規顧客獲得に係るマニュアル作成や加算取得に向けた準備等を進めましたが、実運用や体制構築には至らず、次年度への課題として残る結果となりました。

## 2 事業報告

事業計画(1) 新規顧客獲得のマニュアル作成・実践

ア 現在の新規顧客活動の実施状況の把握

(ア) 申込者から入所判定会へ上げるケースの基準

(イ) 事前面接のタイミング・面接担当者

(ウ) 判定会の運営方法

(エ) 退所から入所までのアプローチのタイミング

(オ) 各関係機関への広報（営業）

イ 上記項目を稼働率向上の視点で整理

(ア) 担当者の実務や他職種、関係機関等との連携の視点を考慮

(イ) 継続的に実践可能なマニュアルの完成

新規顧客獲得に関する活動について、現状の業務内容を把握し、申込から入所判定、事前面接、判定会の運営、退所から入所までの調整、関係機関への広報等の各工程について整理を行いました。

その上で、担当者の実務や他職種、関係機関との連携を踏まえ、稼働率向上の視点から業務全体の見直しを行い、入退所業務に特化したマニュアルとして文書化を進めました。

また、入所初期および3か月後の状態把握と情報共有の仕組みを位置付けるとともに、利用者様の生活・医療・環境等の状況をスコアとして可視化し、入所判断に活用する枠組みを構築しました。

しかしながら、実運用には至っておらず、次年度において運用を開始し、検証および見直しを行いながら定着を図ってまいります。

事業計画(2) 各種加算取得への対応

ア 高齢者施設等感染対策向上加算（Ⅱ） 5単位/月

（感染対策向上加算を算定している医療機関との連携）

- イ 認知症チームケア推進加算（Ⅱ） 120 単位/月  
（認知症の割合 1/2 以上、評価・測定・予防のチームケア、カンファレンス実施 研修修了者の配置 等）
- ウ 科学的介護推進体制加算（Ⅰ） 40 単位/月  
（利用者の基本情報を厚労省に提出、フィードバックを基に計画書の見直し・支援内容の変更）
- エ その他の加算について取得可否などの精査

「科学的介護推進体制加算（Ⅰ）」については、多職種によるアセスメントおよび厚労省への情報提出体制を整備し、6月請求分より算定を開始しました。

また、「認知症チームケア推進加算」については算定要件の確認および研修修了者の確保に向けた調整を行い、「高齢者施設等感染対策向上加算」については看護主任を中心に医療機関および医師と連携し、算定要件や体制整備に関する確認を進めました。

さらに、その他の加算についても取得の可否や必要な体制について検討を行いました。しかしながら、人員体制の影響により、これらの加算については年度内の算定開始には至りませんでした。

次年度においては、体制整備および要件確認を進め、算定に向けた取組を継続してまいります。

#### 事業計画(3) 認知症ケア推進チームの構築

- ア 必置の研修修了者の準備（以下の両方を満たす者）
  - (ア) 認知症介護実践リーダー研修（認知症介護実践者研修修了者が要件）
  - (イ) 認知症チームケア推進研修（オンラインにて受講可能）
- イ 認知症への理解
  - (ア) 施設内研修の実施
  - (イ) 外部研修への派遣
- ウ チームの構成
  - (ア) メンバーの選出
  - (イ) 活動内容の共有・実践

認知症ケア推進に向け、「認知症チームケア推進加算」に係る要件の確認を行うとともに、体制構築の方向性について検討を進めました。

また、認知症への理解の必要性について施設内での共有を図りました。

一方で、人員体制の影響もあり、担当者および現場において十分な時間の確保が難しく、研修受講およびチームとしての体制構築、具体的な活動の開始には至っておりません。

次年度においては体制整備を進めるとともに、研修受講を含めた準備を行い段階的な取組の開始につなげてまいります。

### 3 その他事業報告

#### (1) 月別稼働率の状況

##### ア 稼働率 (単位：%)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間
施設入所	91.2	89.2	94.7	89.0	94.4	95.6	93.5	92.0	89.2	93.2	90.0	89.7	91.8
短期入所	67.7	60.0	57.0	67.4	79.0	68.3	77.1	77.3	72.3	63.2	72.1	71.2	69.4

#### (2) 年間行事等

行 事 名	実施月	備考
誕生会	4月	7名の利用者様の誕生日祝いをする。
誕生会	5月	3名の利用者様の誕生日祝いをする。
おやつ作り	5月	「たい焼き」を楽しむ。
誕生会	6月	3名の利用者様の誕生日祝いをする。
誕生会	7月	6名の利用者様の誕生日祝いをする。
七夕	7月	七夕飾りをホールに飾り、短冊に願い事を記入し楽しむ。
おやつ作り	7月	季節の果物「スイカ」を楽しむ。
安芸中学校交流	7月	中学生とレクリエーション等交流し楽しむ。
よさこい鳴子踊り	8月	踊り子隊が来園され、ホールにてよさこいを楽しむ。
誕生会	8月	4名の利用者様の誕生日祝いをする。
おやつ作り	9月	「かき氷」を楽しむ。
誕生会	9月	2名の利用者様の誕生日祝いをする。
長寿を祝う会	9月	利用者様の長寿と健康を祝い、祝い膳を楽しむ。
誕生会	10月	9名の利用者様の誕生日祝いをする。
おやつ作り	10月	「ぜんざい (おしろこ)」を楽しむ。
誕生会	11月	5名の利用者様の誕生日祝いをする。
おやつ作り	12月	「焼き芋」を楽しむ。
誕生会	12月	7名の利用者様の誕生日祝いをする。
クリスマス会	12月	クリスマスケーキやプレゼントを楽しむ。
年忘れ会	12月	一年の締めくくりをカラオケやお祝い膳で楽しむ。
新年会	1月	新しい年を祝い、祝い膳を楽しむ。
誕生会	1月	12名の利用者様の誕生日祝いをする。
節分	2月	ホールにて豆まきを楽しむ。
赤野小学校交流	2月	小学生の生徒さん5名の訪問があり交流を楽しむ。
誕生会	2月	8名の利用者様の誕生日祝いをする。
おやつ作り	2月	「焼き芋」を楽しむ。
誕生会	3月	12名の利用者様の誕生日祝いをする。

#### (3) 防災訓練等

種 別	実施時期	合 計
避難誘導	6月・10月・1月	3回
消火	6月・10月・1月	3回

通報	6月・10月	2回
地震	6月・10月・1月	3回
風水害	12月	1回
夜間招集	3月	1回

#### (4) 外部研修参加状況

##### (○) スタッフの外部研修への参加状況

研修・セミナーの名称	開催時期	主催	参加者
介護の日本語授業料「外国人雇用」	4月～3月 (月1回)	Rainbow Language School 日本語教室	外国人スタッフ
Mr. Cando 日本語教室	4月～3月 (週2回)	(株)グローバルキャリアステップ	外国人スタッフ
高知県老人福祉施設協議会理事会・総会・研修会	4月	高知県老人福祉施設協議会	施設長・生活相談員
アウトカムを出せる科学的介護教育実践LIVE講座	7月～3月 (月2回)	ポスト・ヒューマン・ジャパン株式会社	全職種
安全運転管理者講習	5月	(一社)高知県安全運転管理者協議会連合会	事務員
負担ゼロ賃上げ徹底攻略カンファレンス	5月	株式会社エクサウィザーズ	施設長
老協東ブロック施設長会・見学(セーラス室戸 施設見学)	5月	高知県老人福祉施設協議会	施設長・生活相談員・介護主任・看護師
令和7年度実習指導者講習会	6月	高知県介護福祉士会	介護スタッフ
食と栄養の会 総会・研修会	6月	公益社団法人高知県栄養士会	管理栄養士
生産性向上の推進に関する研修会	6月	高知県老人福祉施設協議会	施設長・介護主任・生活相談員・理学療法士
東ブロック栄養士勉強会(ZOOM)	6月	高知県老人福祉施設協議会	管理栄養士
高知県生産性向上支援セミナー	6月	公益財団法人 介護労働安定センター	施設長・生活相談員・介護支援専門員
サニーマート特別公演 山岡彰彦氏	6月	株式会社 サニーマート	施設長
中堅職員研修(福祉職員キャリアパス対応生涯研修過程)	7月	高知県社会福祉協議会	介護職員
福祉QC入門講座	7月	日本福祉施設士会	介護主任・管理栄養士
令和7年度第1回高知県社会福祉法人経営青年会セミナー「組織づくり・人財育成」	7月	高知県社会福祉法人経営青年会	施設長
東ブロック 生活相談員・介護支援専門員合同研修会	7月	高知県老人福祉施設協議会	生活相談員・介護支援専門員
生産性向上支援訓練【リスクマネジメントによる損失防止対策】	7月	公益財団法人 介護労働安定センター	生活相談員・介護支援専門員・介護主任
介護職のために必要な薬の知識	7月	公益財団法人 介護労働安定センター	生活相談員
高齢者虐待防止に向けた具体的な取組	8月	高知県社会福祉協議会	介護支援専門員
防災士養成講座	9～10月	高知県社会福祉協議会	生活相談員

第24回健康文化都市記念講演会医療・介護従事者研修会	8月	安芸市教育委員会 生涯学習課	介護主任・管理栄養士
高知県高齢者虐待防止権利擁護研修 施設長・管理者・虐待防止担当者対象	8月	高知県社会福祉協議会	介護支援専門員
第33回日本福祉施設士会九州・沖縄ブロック福岡長崎大会	8月	日本福祉施設士会九州・沖縄ブロック福祉施設士会	施設長
第72回四国老人福祉施設関係者研究大会	8月	老人福祉施設協議会	施設長・看護師・生活相談員
第1回施設長実学講座「高齢者施設コース」	8月	全国社会福祉施設協議会 日本福祉施設士会	介護主任
生産性向上支援訓練【SNSを活用した情報発信】	8月	公益財団法人 介護労働安定センター	施設長・介護主任・生活相談員
令和7年度第2回高知県社会福祉法人経営青年会セミナー「学生から就職したいと思われる職場を目指して」	8月	高知県社会福祉法人経営青年会	施設長
高知県福祉・介護事業所認証評価スタートアップセミナー	9月	高知県子ども・福祉政策部 長寿社会課	施設長
施設看護師看取りケア研修	9月	全国高齢者施設看護師会	看護師・介護支援専門員
中堅職員研修（福祉職場キャリアパス対応生涯研修課程）	9月	高知県社会福祉協議会	介護職員
病院ではない施設看護師の専門性と具体的な動き方	9月	全国高齢者施設看護師会	看護師
介護支援専門員・生活相談員研修「事故後の家族トラブル対策」	10月	高知県老人福祉施設協議会	介護支援専門員・生活相談員
チームリーダー研修（福祉職場キャリアパス対応生涯研修課程）	10月	高知県社会福祉協議会	介護主任
リスクマネジメント研修会「事故から学ぶ介護事故を巡る家族との賠償・訴訟への対応策」	10月	高知県老人福祉施設協議会	介護支援専門員・生活相談員・介護主任
ノーリフティングケア実技研修	10月	一般社団法人ナチュラルハートフルケアネットワーク	介護職員（宮田、横山）
中堅職員ステップアップ研修	11月	高知県社会福祉協議会	介護職員
ケアテーマ別研修「メンバーシップリーダー」	11月	高知県社会福祉協議会	介護主任心得・介護職員
東ブロック 生活相談員・介護支援専門員合同研修会	11月	高知県老人福祉施設協議会	介護支援専門員・生活相談員
オンライン情報交換会	11月	日本福祉施設士会	施設長
介護・福祉現場のBCP対策セミナー	11月	公益財団法人 介護労働安定センター	介護支援専門員・生活相談員
生産性向上支援訓練 第3回【ストレスチェックを用いた職場環境改善と生産性向上】	11月	公益財団法人 介護労働安定センター	介護支援専門員・生活相談員・介護主任
第4回全国老人福祉施設大会研究会議	12月	全国老人福祉施設協議会	施設長・生活相談員
認知症介護基礎研修 eラーニング	12月	東北福祉会/認知症介護研究・研修仙台センター	介護スタッフ

令和7年度給食施設関係者研修会	1月	高知県安芸保健所衛生環境課	管理栄養士
生産性向上支援訓練 第4回【職業能力の体系化と人材育成の進め方】	1月	公益財団法人 介護労働安定センター	介護主任・生活相談員
高知家ノーリフティングフォーラム	2月	高知県子ども・福祉政策部 長寿社会課	生活相談員
社会福祉施設総合保険制度説明会	2月	高知県社会福祉法人経営者協議会	施設長・介護主任・生活相談員
遠隔コミュニケーションツール使用研修	2月	安芸市健康介護課	介護支援専門員
生産性向上支援訓練 第5回【業務効率向上のための時間管理】	2月	公益財団法人 介護労働安定センター	生活相談員・介護主任

# 小規模多機能型居宅介護事業所南風 事業報告

## 1 事業の総括

令和7年度は、ステージ桜が丘との交流や地域に出向きイベント等に利用者様と参加することで地域貢献ができ、市民館の意見交換会や認知症ケア会等に参加することで事業所としての役割を果たすことができました。経営面では、新たな加算や上位加算取得に努め、さらに職員をステージ桜が丘へ応援対応することで、一定期間人件費を抑えることができましたが、安芸市全域で新規利用者数が少ない状況下であり、収入が見込めず厳しい状況となりました。

## 2 事業報告

### 事業計画（1）稼働率向上

- ア 地域行事に参加しPR活動を行う
- イ 市民館の地域会に出席し地域課題の把握を行う
- ウ 利用者様との関りのあるケース相談をする
- エ 介護保険外サービス等の活用をする

地域の子供食堂、ハロウィンイベント、西八幡宮の神祭、福祉ふれあいバザー、地域のひな祭りパレード等に利用者様と参加することで地域貢献や、市民館の意見交換会に出席することで事業所の役割の周知活動ができました。また、認知症初期集中支援事業や地域ケア会、認知症ケアの学習を深める研修等に参加し対応方法の習得、介護保険外サービス活用については、必要に応じて利用者様の散髪や買物支援の送迎対応等を臨機応変に提供することが出来ました。しかし、新規利用者数が少ない影響もあり平均稼働率が81.3%と、目標の90%には届きませんでした。今後は先を見据えての営業活動に努めます。

### 事業計画（2）スタッフの人材育成

- ア 業務改善に向けて生産性向上ガイドラインを基に改善方法の手段手法を伝える
- イ 認知症介護実践リーダー研修に参加する
- ウ 人権について研修会を実施、南風の意見評価を問う家族会の開催（年2回）実施する
- エ 地域住民等や他事業所等と共同で事例検討会に参加する
- オ 不適切ケアについてアンケートを実施しより良いケアについて対応方法を検討する
- カ 現場におけるリスクマネジメントや認知症に対するより良い対応方法について勉強会や研修を開催する
- キ 認知症に対しての特性理解や対応方法等内部研修を実施する

認知症やリスクマネジメントの研修実施や、他事業所との事例検討会を開催することで認知症への理解を深めることができました。また、生産性向上ガイドラインを基に業務改善方法の手段手法を伝え、成果報告会研修に参加することで学ぶ機会ができ、スタッフのスキルアップに繋げることができました。人権擁護については、安芸人権擁護委員協議会の職員による研修にて、更なる理解を深めることができました。次年度も、スタッフのスキルアップに努めていきます。

### 3 その他事業報告

#### (1) 月別稼働率の状況

##### ア 稼働率 (単位：%)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間
稼働率	96	96	88	80	76	80	80	76	80	76	72	76	81.3

##### 【収入増加にむけての取組】

- 新規加算取得  
科学的介護推進体制加算 40 単位/月 (R7.9月～)
- 上位加算取得  
サービス提供体制強化加算 (Ⅲ) ⇒ (Ⅱ) 640 単位/月 (R7.6月～)
- 食事代値上げ (各 50 円値上げ)  
朝食 300 円⇒350 円 昼食 550 円⇒600 円 夕食 500 円⇒550 円 (R8.1月～)

##### イ 年間行事

実施月	行事イベント
4月	・さくら見学
5月	・つつじ見学 ・南風農園 (植え付け)
6月	・あじさい見学
7月	・たなばた (四季膳)
8月	・縁日
9月	・長寿を祝う会 ・お月見
10月	・福祉ふれあいバザー、ハロウィンパーティー
11月	・西八幡宮神祭 ・焼き芋 ・南風農園 (大根の収穫)
12月	・クリスマス・年忘れ会 (会食)
1月	・初詣 ・新年祝賀会 (祝膳)
2月	・節分 (豆まき)
3月	・ひなまつり (四季膳)

##### ウ ステージ桜が丘との共同訓練

	開催時期	合計
火災訓練	4月・6月・10月・1月	4回
地震訓練	5月・12月・3月	3回
風水害訓練	5月・8月	2回
福祉避難所訓練	10月	1回
夜間召集訓練	2月	1回

##### エ スタッフの内部・外部研修への参加状況

研修・セミナーの名称	開催時期	主催	参加者
業務改善について生産性を高める手法 (生産性向上ガイドラインを基に参照する。) について	4月・10月	内部研修	介護従事者
認知症介護基礎研修	5月	認知症介護研修センター	〃

在宅で役立つ食支援の実践術	5月	株式会社日本ケアサブライ	〃
現場におけるリスクマネジメントの研修	5月・8月	内部研修	〃
介護現場の生産性向上 2025	6月	こうち生産性向上総合支援センター	〃
認知症の特性理解や対応方法についての研修	6月・ 12月	内部研修	〃
アンガーマネジメント研修	6月	福祉の学び舎チャンネル (youtube)	〃
リスクマネジメントによる損失防止対策	7月	介護労働安定センター	管理者
高齢者虐待防止・権利擁護研修	8月	高知県社会福祉協議会	〃
認知症介護実践リーダー研修	8月～ R8.2月	高知県社会福祉協議会	介護従事者
人権や権利擁護についての理解・虐待防止や 身体拘束廃止に向けての理解について研修	9月・ R8.3月	安芸人権擁護委員協議会	〃
感染症対策研修会	9月	安芸福祉保健所	〃
認知症介護実践者研修	10月～ 12月	高知県社会福祉協議会	〃
ノーリフティングケアについて	12月	一般社団法人ナチュラルハートフルネ ットワーク	〃
管理職員研修	12月	高知県社会福祉協議会	管理者
BCP 研修	12月	あいおいニッセイ	介護従事者
現場を回す人から組織を育てる人へ	R8.1月	介護労働安定センター	〃
介護現場の業務改善に向けた生産性向上の取 り組み	R8.3月	こうち生産性向上総合支援センター	管理者 介護従事者

## 障害者支援施設とさ 事業報告

### 1 事業の総括

関係法令を遵守し、本会の会是を基本理念として、利用者様の人権の尊重と自己決定・自己選択及び自立に向けた支援に努め、利用者様が安心・安全な生活ができる支援を行いました。また、地域住民の方々に当施設をPRし、地域で必要とされる施設運営を目指しました。スローガンは「利用者様を大事にする想い」とし、利用者様の人権を尊重した支援スキルの向上に取組みました。

### 2 事業報告

事業計画(1)サービスの質の向上 ア 地域とのつながり強化 イ 支援力向上 ウ ICT化の推進
--

- ア 波介下東地区モーニングサロンへの参加や波介小学校との交流事業に取組みました。土佐市福祉ネットワーク協議会へ加入し、地域の福祉事業所との交流も図ることができました。
- イ 各部署にて事例発表を行い、優良賞は投票にて生活支援員の事例発表に決定しました。
- ウ 開設時から使用してきたナースコールを老朽化に伴い入替し、利用者様、スタッフ共に安心・安全な環境が整いました。

事業計画(2)経営の安定化 ア 稼働率施設入所 98% イ 外国人材雇用検討・準備
---

- ア 毎月営業活動に市町村や相談支援事業所などを訪問し、入所利用者様 51名の契約ができました。施設入所の年間平均稼働率も 99.6%となり、目標稼働率を達成しました。新規通所利用者様は2名、新規ショートステイ利用者様は1名獲得することができました。
- イ 外国人材2名の受入れを決定し、令和8年6月受入予定で準備を進めました。

事業計画(3)課題解決・業務改善への取り組み ア 福祉QC活動の推進
---------------------------------------

- ア 生活支援主任とPTを中心として、QCサークルを結成し「ノーリフティングケアについて」をテーマに取組みました。福祉QCストーリーに基づき実践し、12月9日「福祉QC全国発表大会」にて発表を行い、審査員特別賞をいただきました。

### 3 その他事業報告

#### (1) 月別稼働率の状況

##### ア 稼働率 (単位: %)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間	
施設入所	100.0	99.7	99.7	98.6	100.7	101.9	101.3	99.8	97.7	96.7	99.0	99.7	99.6	
生活介護	93.9	93.9	94.2	94.0	94.9	96.6	95.9	94.8	93.8	91.7	93.5	93.0	94.2	
内	入所	95.3	95.3	95.5	94.0	96.0	96.7	95.9	94.9	93.7	92.7	93.8	94.1	94.8
	通所	87.3	87.0	88.2	93.9	89.6	95.9	96.1	94.1	94.3	87.0	92.0	87.8	91.1
短期入所	70.0	74.2	85.8	102.4	78.2	87.5	87.9	80.0	75.8	73.4	71.4	66.1	79.5	

## (2) 年間行事等

## ア 施設の行事

## (ア) 日中活動

種目	目標	実施内容
室内 娯楽	<ul style="list-style-type: none"> <li>認知能力や感受性の向上</li> <li>協調性を養う</li> <li>心身のリラックス</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>オセロ・卓球バレー・風船バレー</li> <li>かるた・トランプ・ボッチャ・玉入れ</li> <li>DVD鑑賞・もぐらたたき・すごろく</li> <li>ボーリング・ラダーボール・新聞作り・輪投げ</li> </ul>
作業 療法	<ul style="list-style-type: none"> <li>手指の細かい動作能力を高める</li> <li>心身の耐久性を高める</li> <li>協調性、思考性、感受性を養う</li> <li>意思・意欲の向上</li> <li>認知能力を高める</li> <li>自立生活能力を高める</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>調理話し合い・新聞作り</li> <li>調理(プリンアラモード)</li> <li>作品作り(あじさい、こいのぼり、七夕飾り、お花、鬼の面、柿、芋、雪だるま)</li> <li>七夕飾り付け・クリスマス飾り</li> <li>正月飾り・ひな飾り・五月人形</li> <li>スピリットアート出展(風景)</li> </ul>
学習系	<ul style="list-style-type: none"> <li>集団(社会)適応能力を高める</li> <li>手指の細かい動作能力を高める</li> <li>認知能力を高める</li> <li>協調性を養う</li> <li>思考性を養う</li> <li>感受性を向上させる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>視力トレーニング・暑中見舞い・豆まき</li> <li>ぬり絵・違う絵探し</li> <li>新聞作り・折り紙・間違い探し</li> <li>なぞり書き・文字練習・福笑い</li> <li>個別学習・声の広報・地域学習</li> <li>書初め・鏡餅作りパフォーマンス</li> </ul>
音楽 療法系	<ul style="list-style-type: none"> <li>スキンシップやリラックス</li> <li>仲間作りや雰囲気づくり</li> <li>発声訓練や身体の体操</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>リズム音楽・カラオケ・音楽鑑賞</li> <li>新聞作り</li> </ul>
園芸 療法系	<ul style="list-style-type: none"> <li>手・指の操作性</li> <li>身体の動き</li> <li>観賞、食する喜び</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>栽培(なでしこ、ノースポール)</li> <li>作物や畑の手入れ・新聞作り</li> </ul>
外出	<ul style="list-style-type: none"> <li>気分転換・社会参加</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ドライブ・花見・買い物</li> </ul>
生産 活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>社会参加・意思や意欲の向上</li> <li>協調性や自活能力を高める</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>手作りパン販売・新聞作り・話し合い</li> </ul>
機関紙	<ul style="list-style-type: none"> <li>思考力を養う</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>打ち合わせ、紙面づくり、送付準備</li> </ul>
美活	<ul style="list-style-type: none"> <li>清潔保持・心身のリラックス</li> <li>意思・意欲の向上・気分転換</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>スキンケア・ハンドケア・ネイルケア</li> <li>オーラルケア・新聞作り</li> </ul>
美食	<ul style="list-style-type: none"> <li>気分転換、意思や意欲の向上</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>話し合い・会食</li> <li>スイーツ等取り寄せ (コーヒーゼリーパフェ、ミルクレープ)</li> </ul>

## (イ) 年間行事

行事名	実施日	実施場所(※備考)
ふれあい交流会	6/7	とさホール(入所のみ)
彼岸の法要	9/24・3/19	とさ楓の間
涼風祭	10/18	とさ中庭(入所のみ)
スピリットアート表彰式	10/10	高知県立美術館
波介小学校交流会	11/20	とさホール
クリスマス忘年会	12/24	とさホール
安全祈願祭	1/9	とさ楓の間(スタッフのみ)
二十歳の祝い	1/28	とさ通所ホール
節分豆まき	2/3	とさホール・通所ホール

地域連携推進会	2/20	とさ面会室
卒業生へ花苗贈呈	3/13	波介小学校・高石小学校
卒業式参加	3/23	波介小学校

(ウ) 生活利便のサービス

	内 容	対象
預金引出	火曜日に行員が来所、希望者様の通帳処理を行いました。	入所
散髪	ローズ美容室（毎月第1木、第2.3.4金）来所し、散髪を行いました。WARABI美容室（偶数月第2火）来所し、散髪を行いました。	入所・通所
買物	水曜日に希望日用品を代行して購入しました。	入所
パンの販売	月2回程度、業者が来所してパンを販売しました。	入所・通所
移動スーパー	水曜日に移動スーパーが来所、利用者様が選択して生活物品を購入されました。	入所・通所

イ 地域住民等との交流

波介下東地区のモーニングサロンが毎月第2水曜日に実施されており、施設長やスタッフが参加し、地域住民と交流を図ることができました。11月に実施した栄養士とPTによる講話は好評でした。8/16に青龍よさこい鳴子踊り隊（土佐市）が来訪され、中庭にて踊りを演舞していただきました。11/20に感染症発症以降休止していた、波介小学校との交流会を再開し、4.5年生が来所され交流を図りました。波介小学校と高石小学校の卒業生18名に花苗贈呈を行い、波介小学校の卒業式に参加しました。

(3) 防災訓練及び避難訓練等の実施状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
避難誘導			6/11					11/5					2回
消火			6/11					11/5					2回
通報	4/10		6/11		8/5		10/10	11/5	12/2	1/15	2/2		8回
地震	4/10	5/13			8/5	9/1.18	10/10		12/2	1/15	2/2		9回
凶上			6/11		8/21			11/5					3回
夜間避難			6/11					11/5					2回
水害対応			6/11			9/18							2回

(4) 施設への苦情等件数

受 付 先	施設内の問題	その他の問題	計
とさの苦情等の申出窓口	0	0	0
とさ地区施設運営委員会	0	0	0

(5) スタッフの配置状況（令和8年3月31日現在）

職種	常勤 換算	常勤 (人)	非常勤 (人)	職種	常勤 換算	常勤 (人)	非常勤 (人)
施設長（管理者）	0.6	1	0	理学療法士	1	1	0
サービス管理責任者	1.5	2	0	管理栄養士	1	1	0
医師（嘱託医）	0.02	0	1	事務員	2	2	0
看護職員	5	5	0	用務員	1.2	1	1
生活支援員（介護）	31.7	28	6	夜間警備員	1	1	0
生活支援員（相談）	1	1	1	合計	46.02	43	9

## (6) スタッフの外部研修への参加状況

研修・セミナーの名称	開催時期	主催	参加者
中・四国身体障害者施設協議会 施設長研修会	5月・2月	中・四国身体障害者施設 協議会	施設長
先輩職員研修	7月	福祉研修センター	生活支援員
介護福祉士実習指導者講習会	6月～7月	高知県介護福祉士会	生活支援主任
サービス管理責任者等基礎研修	5月 8月(2日)	福祉研修センター	生活支援員
相談支援従事者初任者研修	6月	福祉研修センター	生活支援員
虐待防止・権利擁護管理者研修	7月	高知県	施設長
納税事務研修会	7月	高知県社会福祉協議会	事務員
虐待防止・権利擁護中堅研修	8月	高知県	生活支援員
「福祉QC」入門講座	7月(2日)	福祉施設士会	生活支援主任 理学療法士
日本福祉施設士会セミナー	8月(2日)	福祉施設士会	施設長
高次脳機能障害支援養成研修	8月～9月	高知県	生活支援主任
土佐市地域医療カンファレンス 及び土佐市在宅医療・介護連携 推進の為の多職種研修会	8月	土佐市地域医療カンファ レンス実行委員会	看護師長
福祉サービス苦情解決セミナー	9月	高知県社会福祉協議会	サビ管
サービス管理責任者等実践研修	11月(2日)	福祉研修センター	サビ管
危険物取扱者保安講習	8月	高知県危険物安全協会	危険物取扱者
強度行動障害支援者養成研修 (基礎研修)	9月～10月 (2日)	高知県	サビ管
虐待防止・権利擁護指導者養成 研修	9月(3日)	高知県	施設長
リスクマネジメント研修	10月	経営者協議会	施設長
国内研修フォローアップ研修	10月	清水基金	サビ管
全国身体障害者施設協議会研究 大会	9月(2日)	全国身体障害者施設協議 会	施設長
中・四国身体障害者施設職員大 会	9月(2日)	中・四国身体障害者施設 協議会	生活支援主任 生活支援員
初任者研修	10月(2日)	福祉研修センター	生活支援員
チームリーダー研修	10月(2日)	福祉研修センター	生活支援主任
虐待防止・権利擁護マネージャ ー実践研修	10月～11月	高知県	サビ管
「福祉QC」全国発表大会	12月	福祉施設士会	生活支援主任 理学療法士
災害派遣福祉チーム スキルアップ研修	10月	高知県災害福祉支援ネッ トワーク会議	生活支援相談員
中堅職員ステップアップ研修	11月	福祉研修センター	生活支援員
感染対策研修会	11月	高知県中央西福祉保健所	看護師
身体障害者施設協会・社会就労 センター協議会合同職員研修会	11月(2日)	高知県身体障害者施設協 会・高知県社会就労セン ター協議会	施設長 サビ管 生活支援主任
難しい時代を乗り越える経営戦 略づくりその2	11月	土佐市福祉ネットワーク 事務局	サビ管

給食施設関係者研修会	12月	食と栄養の会	管理栄養士
食と栄養の会 第3回研修会	12月	食と栄養の会	管理栄養士
意思決定支援研修	1月	高知県	サビ管
リーダー研修	1月	本会	サビ管 生活支援主任
食と栄養の会 第4回研修会	2月	食と栄養の会	管理栄養士
社会福祉施設におけるカスハラ対策	2月	社会福祉法人経営青年会	施設長
技能実習責任者講習	2月	(株)PMC	施設長
生活指導員講習	2月	(株)PMC	事務員
新任職員ステップアップ研修	3月	福祉研修センター	生活支援員
中央西福祉保健所管内における障害児者支援のための地域支援者座談会	3月	高知県中央西福祉保健所	施設長 サビ管

## 就労継続支援 B 型事業所 カトレア

### 1 事業の総括

ノーマライゼーションの理念に基づき、利用者様が地域社会の一員として自立生活を送るための生活面の支援と、就労に必要な知識および技能を高める就労支援をしました。会是の「愛情」「奉仕」「連帯」を遵守し、『個性を磨き上げ、利用者様と共に成長する組織づくり』をスローガンとし、本会の経営理念を念頭に置き、事業計画を達成できるよう職員間で共有を図り、全スタッフ一丸となって成果を出せるように努めました。

### 2 事業報告

事業計画(1)接遇力の向上 ア クラブ活動の充実 イ 支援力向上
--

ア クラブ活動は、年間3回の実施ができ、作業担当部門が異なる利用者様同士の交流を図りました。

イ 事例発表については、各職種が職員会で発表しました。

事業計画(2)経営の安定化 ア 稼働率 98% イ 就労会計の黒字継続 ① 乾燥工場                      年間売上額 ¥9,790,000 ② 食品加工部                  年間売上額 ¥5,000,000 ③ 喫茶                              年間売上額 ¥2,700,000 ④ 請負清掃・空調              年間売上額 ¥1,510,000
---

ア 長期入院や利用契約者 24 名の契約達成が叶わなかったことから、年間稼働率は 85.3% となり、目標稼働率を満たすことができませんでした。

#### イ① 乾燥工場

乾燥オクラチップの製造販売については、過去最高となる約 1.6 t の売上を計上することができました。乾燥生姜チップに関しては、昨年続く猛暑の影響で生姜の生産量が減少したことに加え、飼料価格などの高騰により仕入れ額が上昇しました。そのため、販売単価の見直し・交渉を行い、価格改定を成立させることができました。その結果、製造販売量は 2.5 t となり、目標売上額を達成しました。

#### ② 食品加工部

土佐市ふるさと納税の注文サイトを新設し、自社商品販売 PR 活動も積極的に行いました。農福連携作業にも積極的に取り組み、目標売上額を達成しました。

#### ③ 喫茶部門

積極的に出店販売に参加し、土佐市役所で開催される「ハッピーとさテラス」にてお弁当販売を利用者様と共に行い、目標売上額を達成しました。

#### ④ 清掃・空調

剪定作業の請負回数を増やし、目標売上額を達成しました。

作業部門	令和 6 年度	令和 7 年度	予算 (目標)
ア 乾燥工場	¥10,753,405	¥18,526,744	¥9,790,000
イ 食品加工	¥5,906,630	¥6,911,181	¥5,000,000
ウ 喫茶	¥2,695,538	¥2,867,300	¥2,700,000
エ 清掃・空調	¥1,554,734	¥1,513,000	¥1,510,000
合計金額	¥20,910,307	¥29,818,225	¥19,000,000
平均工賃	¥25,052	¥28,096	¥25,400

各作業部門が収益率の向上に取組み、就労会計の黒字化を継続することができました。利用者様に期末手当の支給を実施し、平均工賃は¥28,096 となりました。

事業計画(3)課題解決・業務改善への取組み

ア 福祉QC活動の推進

ア スタッフ6名でQCサークルを結成し「職場の改善提案を増やす取組み」をテーマに福祉QCストーリーに基づき実践し、1月開催の法人就労部会にて発表を行いました。

### 3 その他事業報告

(1) 月別稼働率の状況

ア 稼働率

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間
利用契約者数	22	22	22	22	22	23	22	22	22	22	22	22	22
開所日数	21	21	21	22	21	20	22	18	21	20	18	22	247
出勤延べ人数	369	350	370	388	341	353	365	318	355	330	310	365	4,214
1日平均	17.6	16.7	17.6	17.6	16.2	17.7	16.6	17.7	16.9	16.5	17.2	16.6	17.0
稼働率	87.9	83.3	88.1	88.2	81.2	88.3	83.0	88.3	84.5	82.5	86.1	83.0	85.3

(2) 年間行事等

ア 施設の行事

行事名	実施日	実施場所
お花見	4/2	いの町波川公園
日帰り旅行	6/25	やなせたかし記念館
お楽しみ会	10/29	カトレア
クリスマス忘年会	12/24	カトレア

イ 地域住民等との交流

土佐市旬物クラブ(婦人部)への商品開発のアドバイスを継続して行い、ねぎ乾燥を地域貢献として請負いました。

(3) クラブ活動 第3土曜日・通所日

クラブ名	内容	実施回数	実施場所
美術	スピリットアート(共同作品)制作・出展、塗り絵、はり絵、画	3回	カトレア
写真	季節の写真、会報誌(スマイル)写真撮影・選択、誕生日カード写真撮影・選択	3回	カトレア 行事実施場所等
音楽	カラオケ、音楽鑑賞、作業のリラクゼーション音楽選曲、CD再生	3回	カトレア
映画	DVD鑑賞、DVD選択・DVD再生	3回	カトレア

(4) 係活動

係名	人数	取組みの内容
日直	1人	朝夕のつどい司会、作業予定、曜日・天気の入力
給食	10人	献立発表、献立記入、食器片付け、台拭き、お茶サーバー準備・片付け
整理・美化	9人	花の水やり、トイレ掃除当番発表、掃除の担当決め・実施、食堂ホールのイス整理、ごみ捨て

## (5) 防災訓練及び避難訓練等の実施状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
避難誘導	4/10	5/9	6/10	7/10	8/8	9/10	10/10	11/10	12/10	1/9	2/10	3/10	12回
消火			6/11					11/5					2回
通報			6/11					11/5					2回
地震	4/10	5/9	6/10	7/10	8/8	9/10	10/10	11/10	12/10	1/9	2/10	3/10	12回
凶上			6/11					11/5					2回
水害対応								11/14			2/10		2回

地震訓練を継続して毎月工賃支給日に実施し、南海大震災に備えた避難について利用者様へ意識付けが出来るように取組みました。

## (6) スタッフの配置状況（令和8年3月31日現在）

職種名	所長	管理責任者 サービス	生活支援員	職業指導員	合計
職員 配置数	1 (0.4)	1	1	4 (3.8)	7

## (7) 施設への苦情等件数

受付先	件数
カトレアの苦情等の申出窓口	0
とさ地区施設運営委員会	0

## (8) スタッフの外部研修への参加状況

研修・セミナーの名称	開催期間	主催	参加者
高知県社会就労センター協議会 総会	6月	高知県社会就労センター 協議会	所長
食品衛生講習会	6月	高知県中央西食品衛生協会	職業指導員
福祉サービス苦情解決セミナー	9月	高知県社会福祉協議会	サビ管
チームリーダー研修	10月(2日)	福祉研修センター	サビ管
中・四国ブロック福祉施設士 セミナー	10月(2日)	福祉施設士会	所長 職業指導員
中・四国社会就労センター協議 会・施設長研修会	12月(2日)	中・四国社会就労センタ ー協議会	所長
身体障害者施設協会・社会就労セ ンター協議会合同職員研修会	11月(2日)	高知県身体障害者施設協 会・高知県就労センター 協議会	所長・サビ管 生活支援員 職業指導員
中堅職員ステップアップ研修	11月	福祉研修センター	生活支援員
リーダー研修	1月	本会	サビ管

